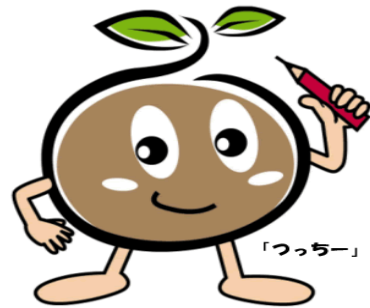


センサスからみた北海道農業

～ 2020年農林業センサス結果より～

【 農 業 経 営 体 数 編 】



令和4年5月
農林水産省
北海道農政事務所



【はじめに】

本資料は、「Ⅰ 農業経営体の現状」では北海道と都府県を比較し、「Ⅱ 地域の特徴」及び「Ⅲ 振興局別の特徴」では北海道を農業の特色等により4地域に分類（一部、多様な農業を展開する道央地域を3地域に

図1 総農家数の推移（北海道）

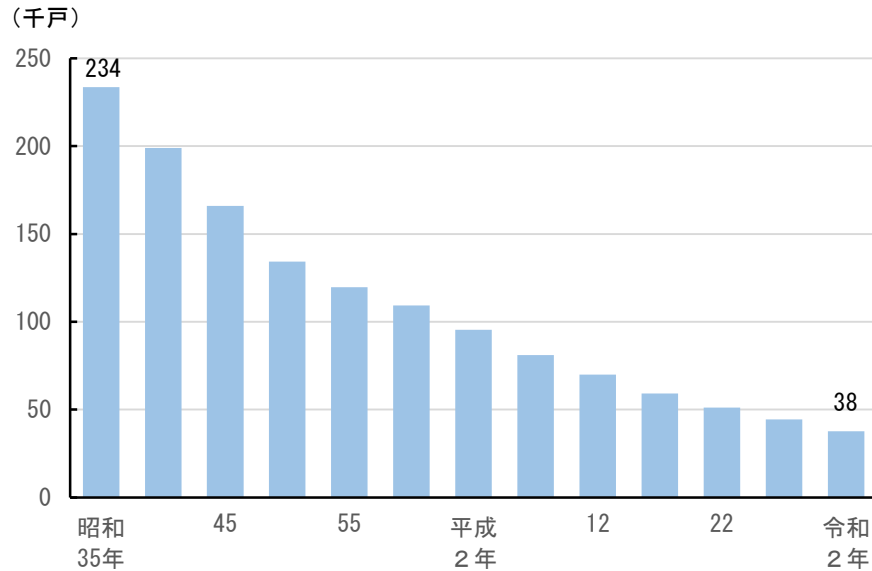
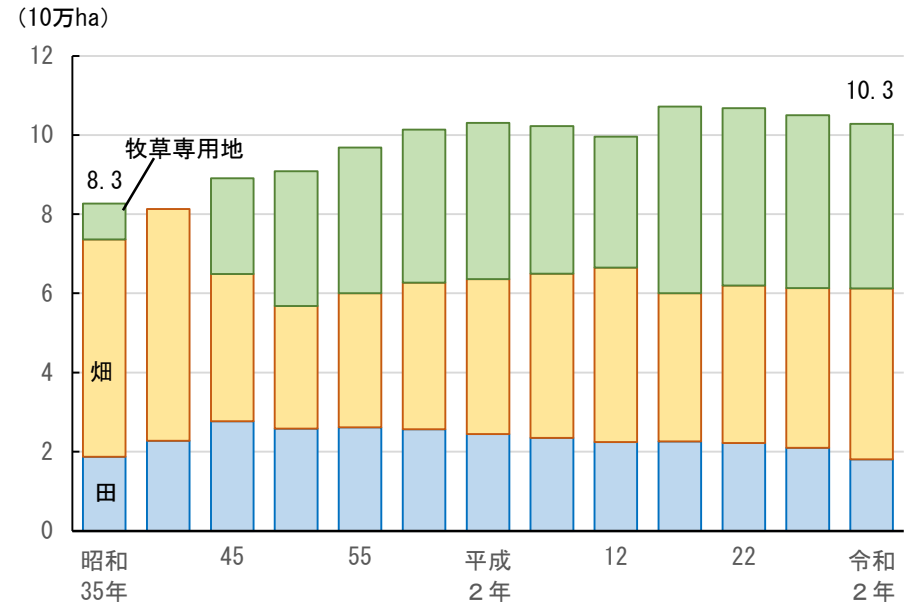


図2 経営耕地の推移（北海道）



注：畑には樹園地を含んでいます
昭和40年の牧草専用地のデータはありません
平成2年から12年は、販売農家の経営耕地です

【利用上の注意】

この資料に掲載された内容を他に転載する場合は「センサスからみた北海道農業」（農林水産省北海道農政事務所）による旨を記載してください。

目 次

I	農業経営体の現状		
1	農業経営体数の推移	1
2	経営耕地面積規模別にみる農業経営体数	2
3	農産物販売金額規模別にみる農業経営体数	3
4	基幹的農業従事者数	4
II	地域毎の農業の特徴		
1	地域別にみた販売金額1位部門別農業経営体数の構成割合	6
2	地域別農業経営体数の推移	7
III	振興局別の特徴		
1	道央（稲作）地域：空知、上川、留萌	8
2	道央（稲作・野菜）地域：石狩、胆振		
	道央（軽種馬）地域：日高	11
3	道南地域：渡島、檜山、後志	14
4	道東（畑作）地域：オホーツク、十勝	17
5	道東（酪農）地域：釧路、根室		
	道北地域：宗谷	20
IV	統計表	23
V	2020年農林業センサス（農林業経営体調査）の概要	25
VI	用語の解説	26

I 農業経営体の現状

1 農業経営体数の推移

個人経営体数は減少、団体経営体数及び法人化している農業経営体数は増加

- ・ 北海道の農業経営体数（令和2年2月1日現在）は3万4,913経営体で、10年前に比べ1万1,636経営体（25.0%）、5年前に比べ5,801経営体（14.2%）減少しました。都府県に比べ北海道の減少率は小さくなりました。個人経営体は減少しましたが、団体経営体は4,347経営体で、10年前に比べ788経営体（22.1%）、5年前に比べ372経営体（9.4%）増加しました。（図3）
- ・ 北海道の法人化している農業経営体数は4,047経営体で、10年前に比べ1,013経営体（33.4%）、5年前に比べ471経営体（13.2%）増加しました。（図4）

図3 農業経営体数の推移

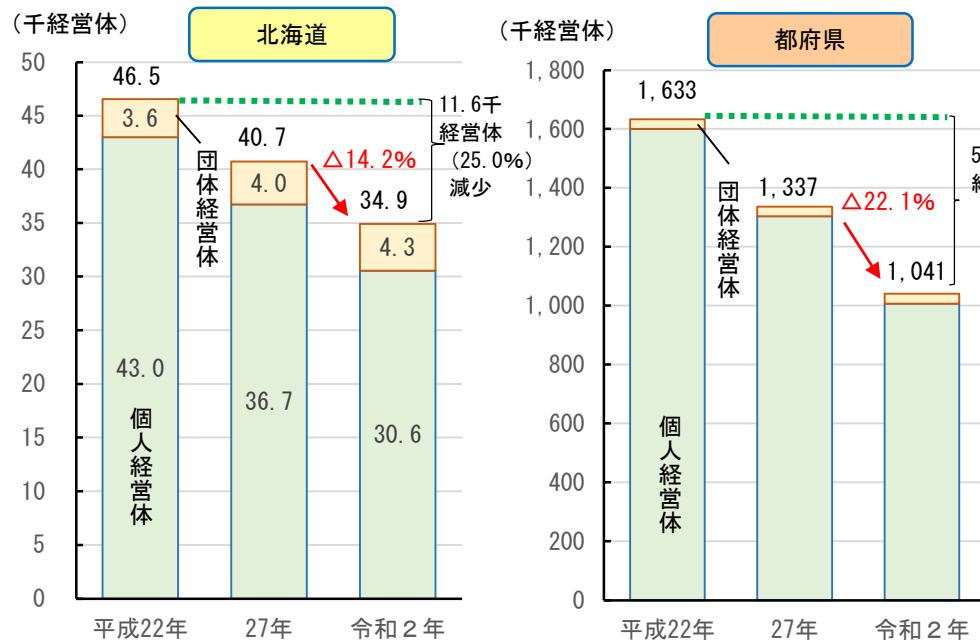
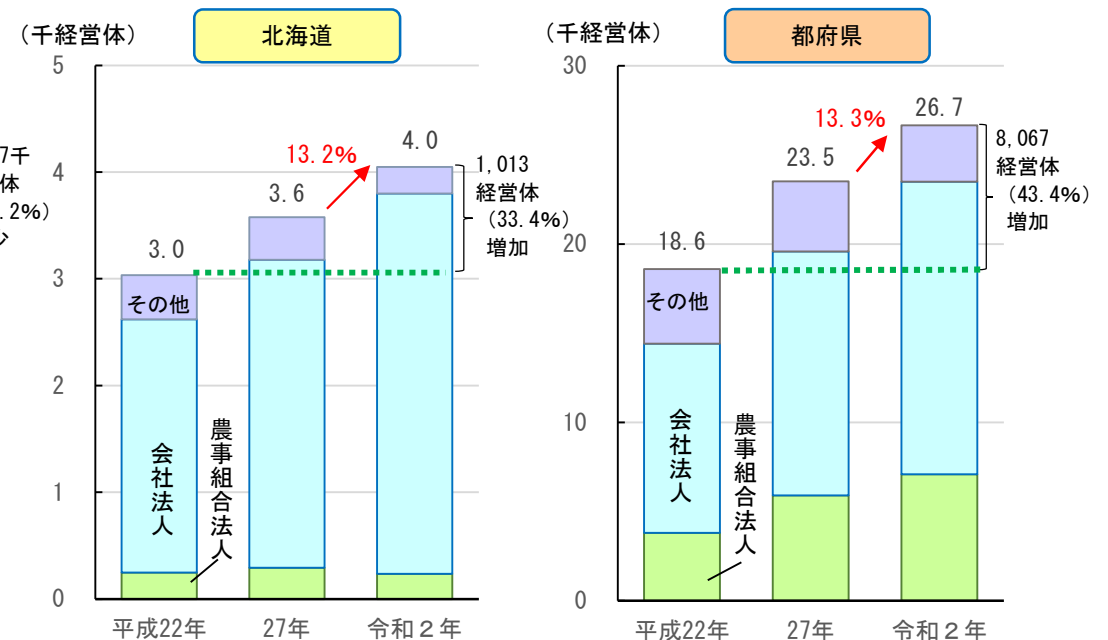


図4 法人化している農業経営体数の推移



法人化している農業経営体とは、団体経営体と個人経営体のうち、法人化しているものです

2 経営耕地面積規模別にみる農業経営体数

1 経営体当たり経営耕地面積及び

10ha以上の農業経営体数の割合が増加

- ・北海道の1経営体当たりの経営耕地面積は30.2haで、都府県の14倍となりました。また、10年前に比べ6.7ha(28.5%)増加しました。(図5)
- ・北海道の農業経営体数を経営耕地面積規模別にみると、10ha以上が65%を占め、10年前に比べ7ポイント上昇しました。(図6)

図5 1経営体当たり経営耕地面積の推移

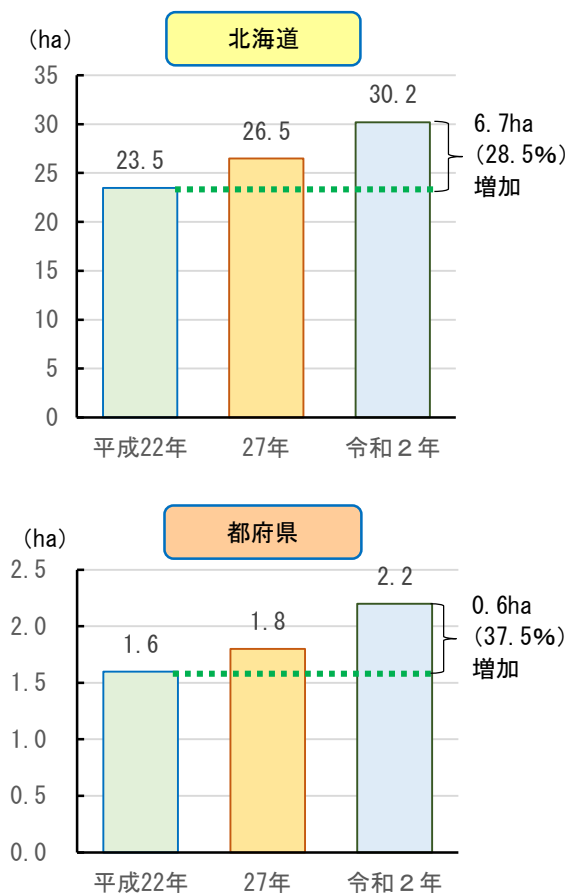
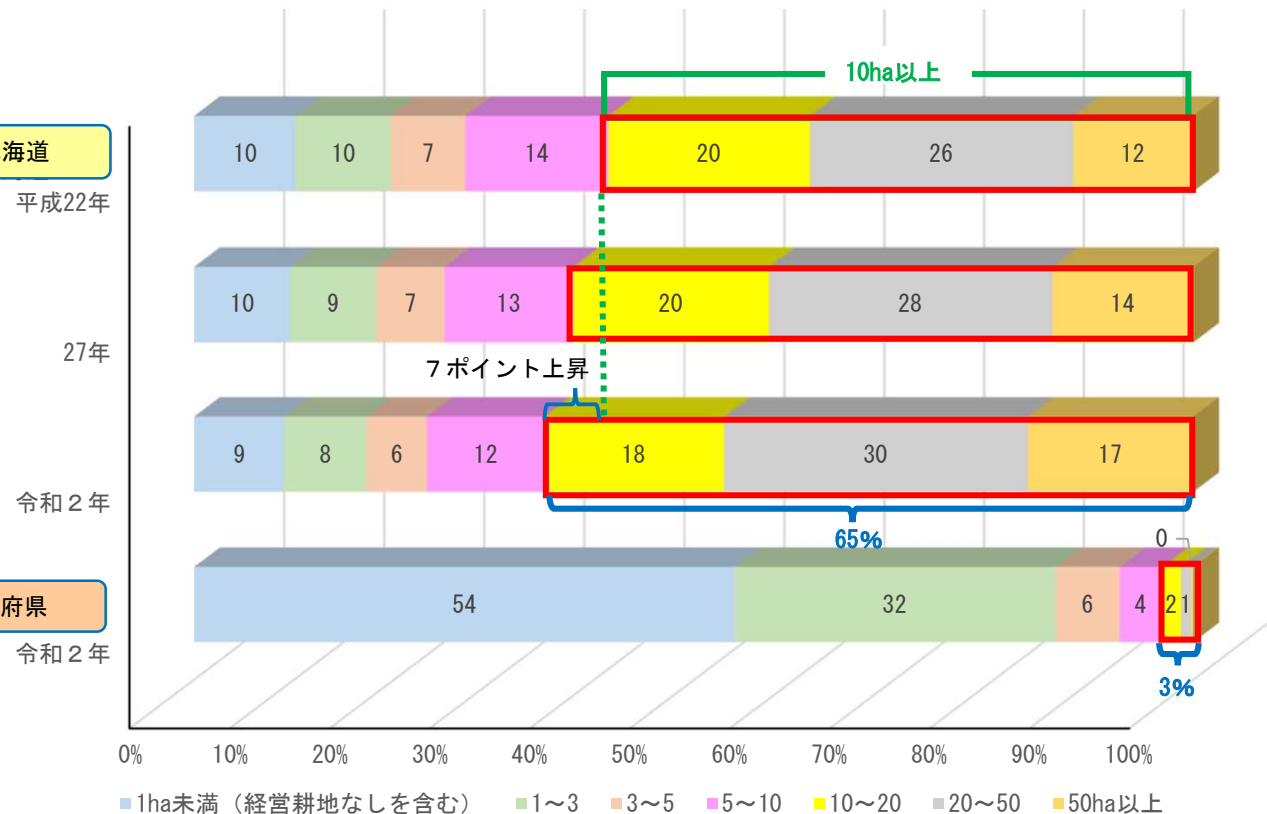


図6 経営耕地面積規模別農業経営体数の割合



注：数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります（以下の各図において同じ。）。

3 農産物販売金額規模別にみる農業経営体数

農産物販売金額で3千万円以上の割合は上昇

- ・北海道の農業経営体数を農産物販売金額規模別にみると、3千万円以上が33%で、10年前に比べ14%ポイント上昇しました。（図7）
- ・北海道の農産物販売金額3千万円以上の農業経営体数は1万1,847経営体で、10年前に比べ2,643経営体（28.7%）増加しました。（図8）

図7 農産物販売金額規模別農業経営体数の割合

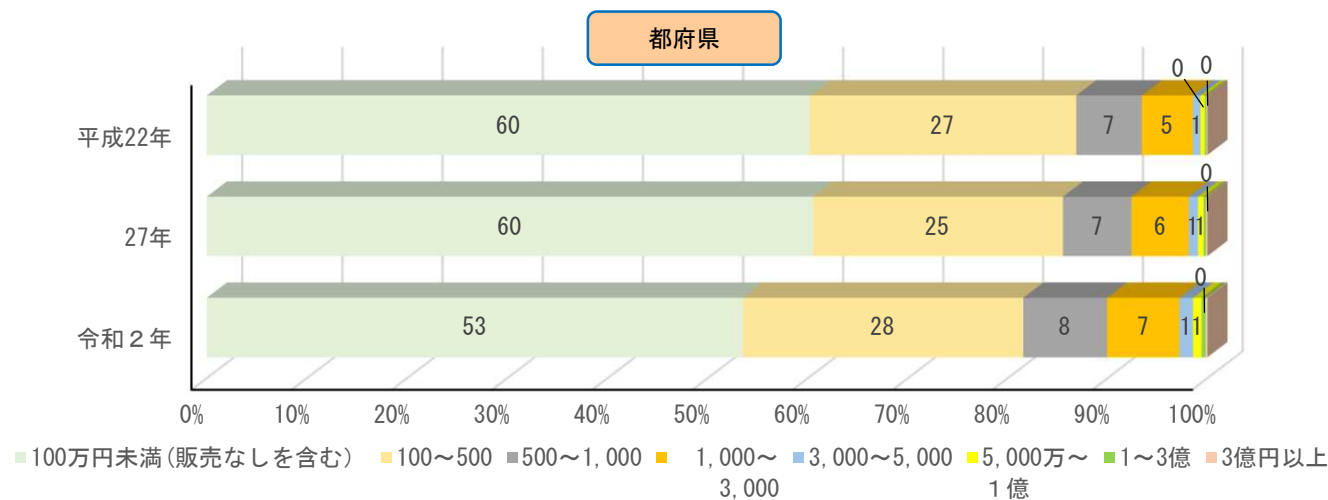
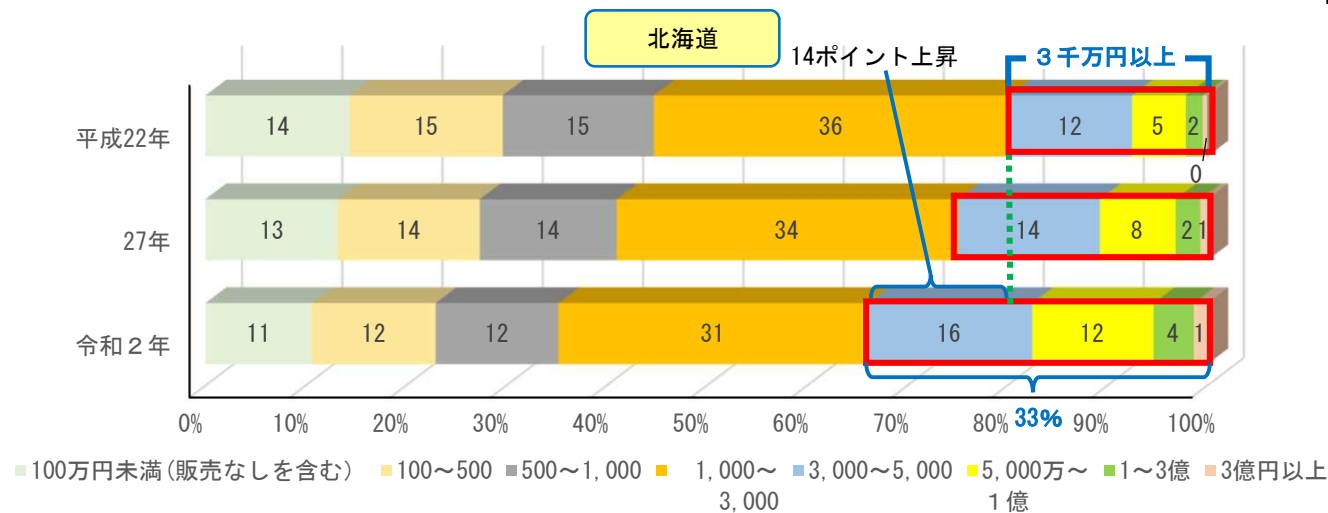
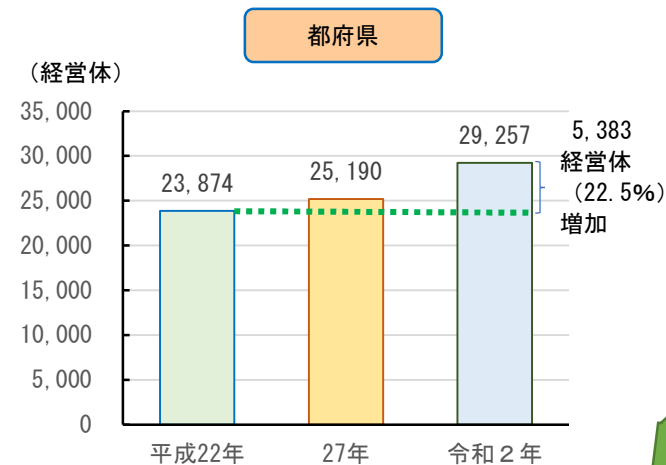
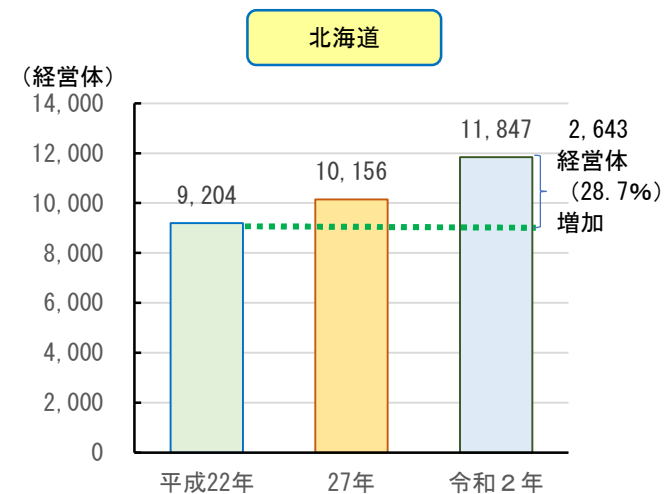


図8 農産物販売金額3千万円以上の農業経営体数の推移

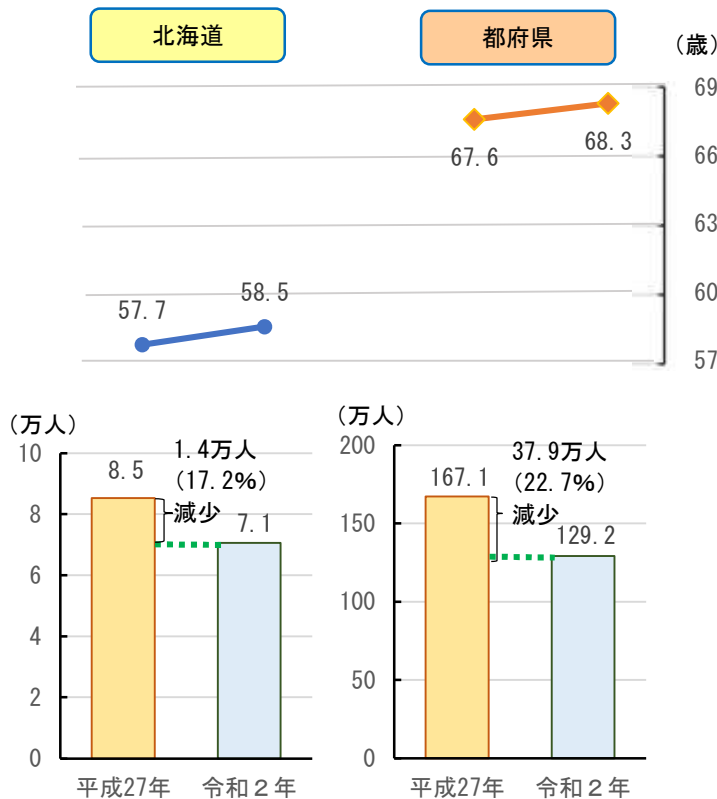


4 基幹的農業従事者数

基幹的農業従事者数は全ての年代で減少

- ・北海道の基幹的農業従事者数は7万643人で、5年前に比べ1万4,637人（17.2%）減少しました。また、平均年齢は58.5歳で5年前に比べ0.8歳上昇しましたが、都府県に比べ9.8歳低くなりました。（図9）
- ・北海道の基幹的農業従事者数（個人経営体）は、全ての年代で減少しました。（図10）
- ・北海道の個人経営体における基幹的農業従事者数を年齢別みると、60歳以上が53%で、5年前に比べ2ポイント上昇しました。（図11）

図9 基幹的農業従事者数及び平均年齢



注：平成27年は販売農家、令和2年は個人経営体

図10 基幹的農業従事者数（個人経営体）の推移（北海道）

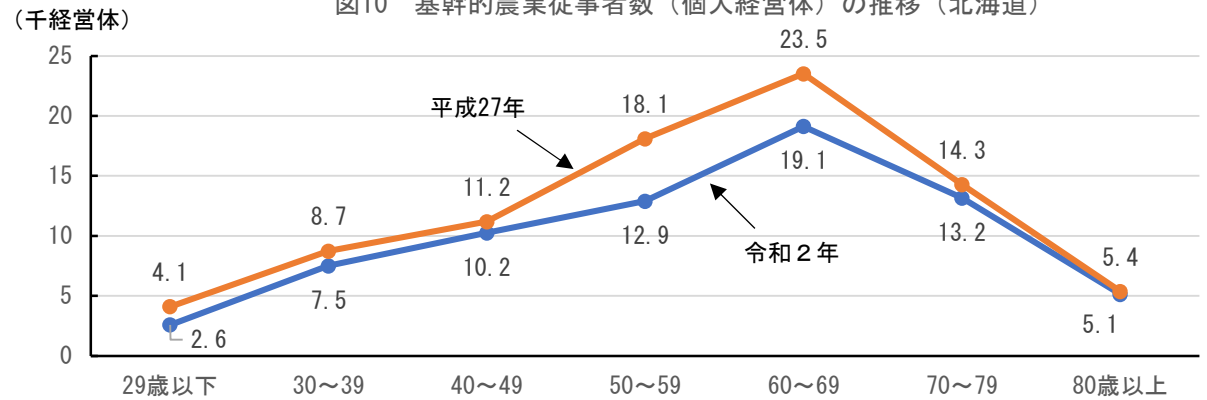
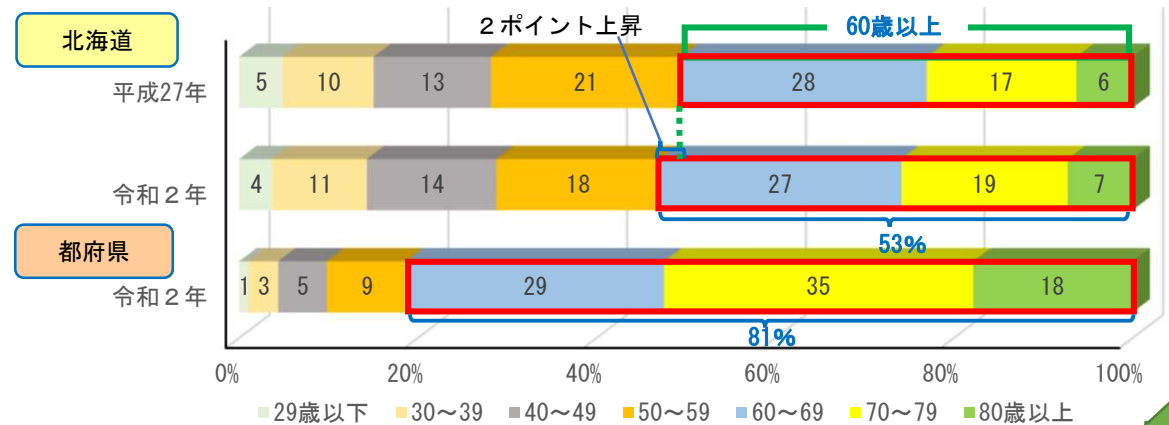


図11 年齢別基幹的農業従事者数（個人経営体）の割合



Ⅱ 地域毎の農業の特徴

【道央地域】

(空知・上川・留萌・石狩・胆振・日高)

稲作の中核地帯を形成しているほか、野菜、軽種馬、肉用牛など、地域の特色を生かした農業を展開している。

農業の特色により以下の3地域に細分。

- ①稲作地域(空知・上川・留萌)
- ②稲作及び野菜地域(石狩・胆振)
- ③軽種馬地域(日高)

【道南地域】

(渡島・檜山・後志)

水稻が各地で栽培されているほか、野菜作や果樹作、酪農などが盛ん。

道内では最も温暖な気候に恵まれ、集約的な農業が展開されている。

【道東(酪農)・道北地域】

(釧路・根室・宗谷)

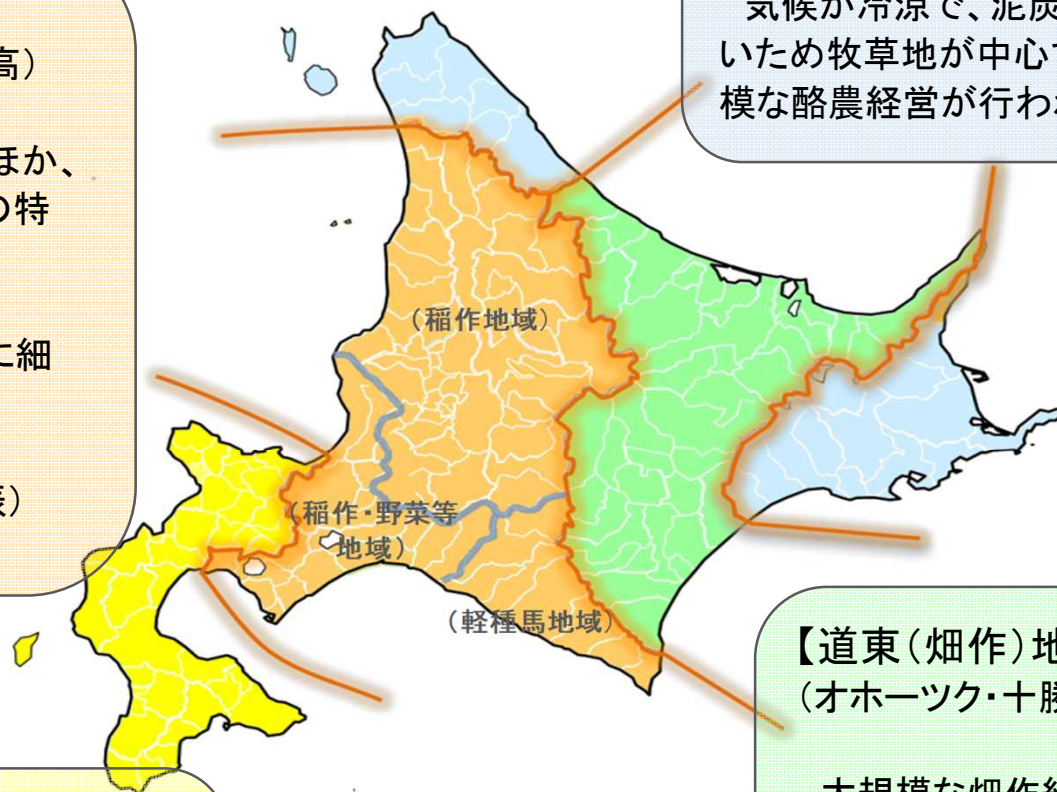
気候が冷涼で、泥炭地などの特殊土壌が多いため牧草地が中心で、これを活かした大規模な酪農経営が行われている。

【道東(畑作)地域】

(オホーツク・十勝)

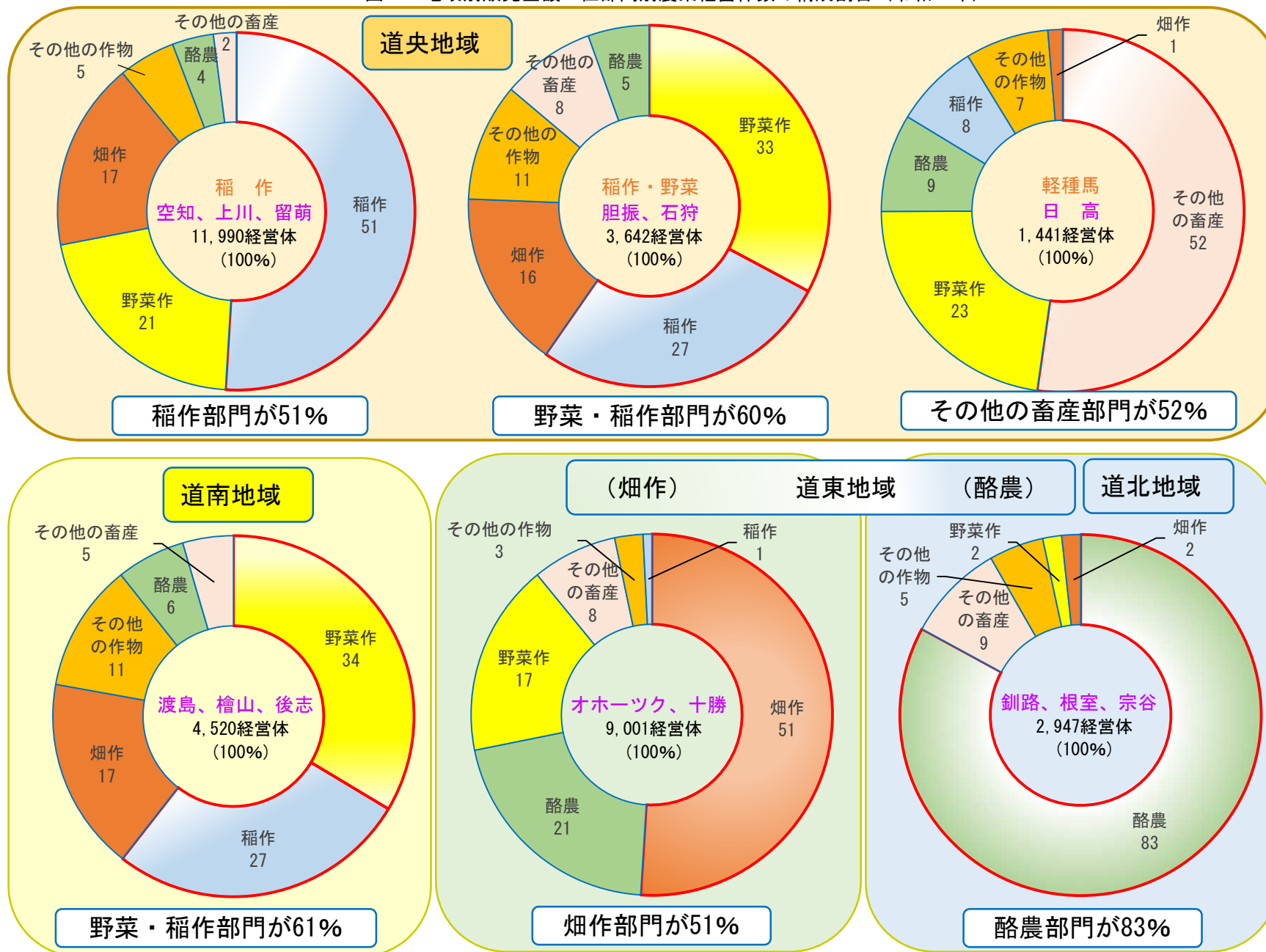
大規模な畑作経営により、麦類、豆類、てんさい、ばれいしょ、たまねぎなどの輪作による生産が盛ん。

また、大規模な酪農経営も行われている。



1 地域別にみた販売金額 1 位部門別農業経営体数の構成割合

図12 地域別販売金額 1 位部門別農業経営体数の構成割合（令和 2 年）



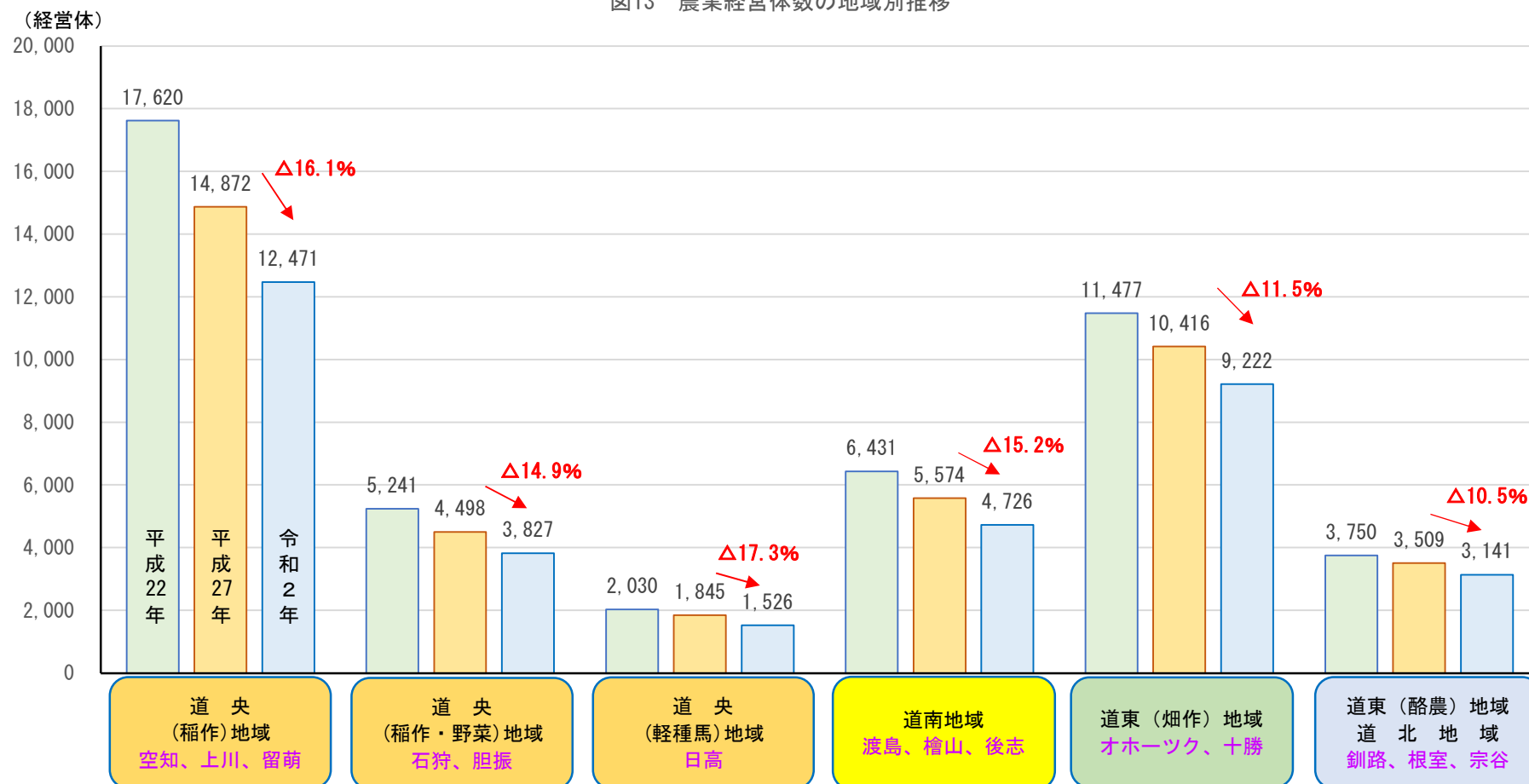
- 各部門の構成は以下のとおりです
- 畑作
 - 麦類作
 - 雑穀・いも類・豆類
 - 工芸作物
 - 野菜作
 - 露地野菜
 - 施設野菜
 - その他の作物
 - 果樹類
 - 花き・花木
 - その他の作物
 - その他の畜産
 - 肉用牛
 - 養豚
 - 養鶏
 - その他の畜産（軽種馬を含む）

販売金額 1 位部門別農業経営体数には、「販売なし」の経営体は含まれません

2 地域別農業経営体数の推移

- ・農業経営体数を地域別で見ると、道央（稲作）地域が12,471経営体で最も多く、次いで道東（畑作）地域（9,222経営体）、道南地域（4,726経営体）となりました。また、5年前からの減少率では、道央（軽種馬）地域が17.3%で最も大きく、次いで道央（稲作）地域（16.1%）、道南地域（15.2%）となりました。（図13）

図13 農業経営体数の地域別推移

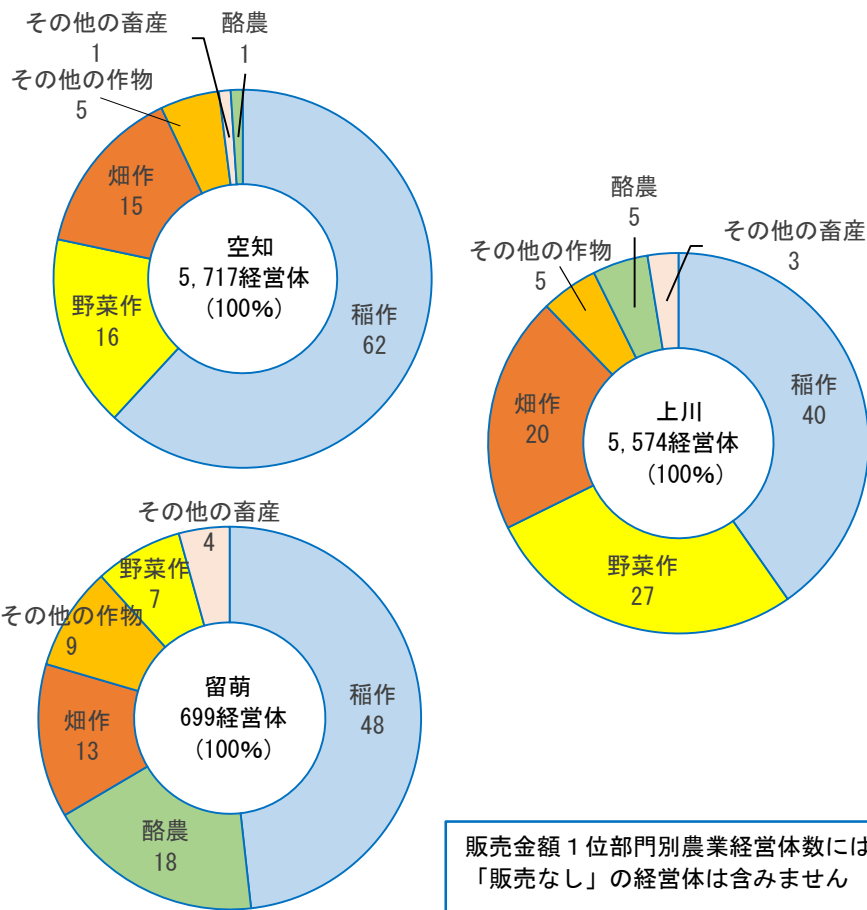


Ⅲ 振興局別の特徴

道央（稲作）地域①：空知、上川、留萌

- ・ 農業経営体数は空知が5,910経営体で最も多く、次いで上川、留萌の順となりました。また、5年前からの減少率は上川が17.6%で最も大きく、次いで留萌、空知の順となりました。（図15）
- ・ 法人化している農業経営体数は空知が最も多く、増加数も空知が最も大きくなりました。（図16）

図14 販売金額1位部門別農業経営体数の構成割合（令和2年）



販売金額1位部門別農業経営体数には、「販売なし」の経営体は含みません

図15 農業経営体数の推移

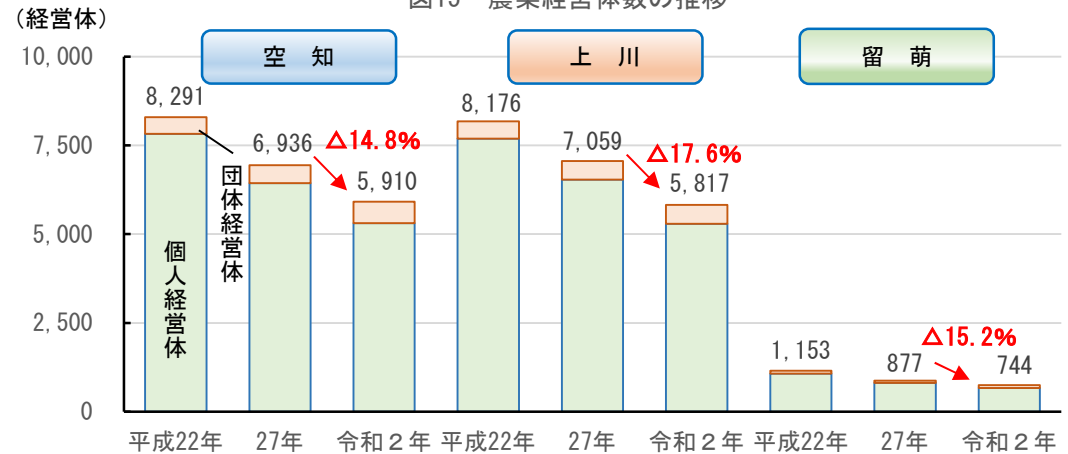
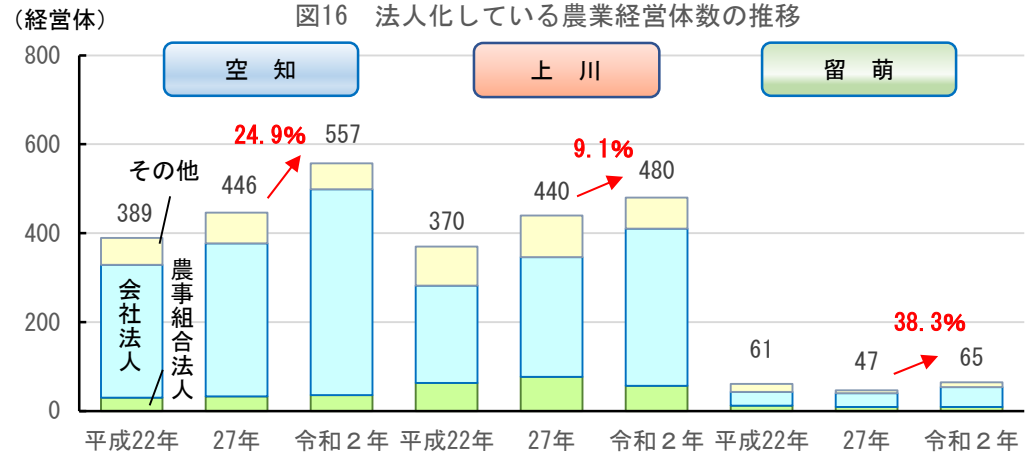


図16 法人化している農業経営体数の推移



道央（稲作）地域②：空知、上川、留萌

- ・ 1 経営体当たり経営耕地面積は留萌が最も大きく、5 年前に比べて3 振興局ともに増加しました。（図17）
- ・ 農業経営体数を経営耕地面積規模別にみると、3 振興局ともに10ha以上が50%以上を占めました。（図18）

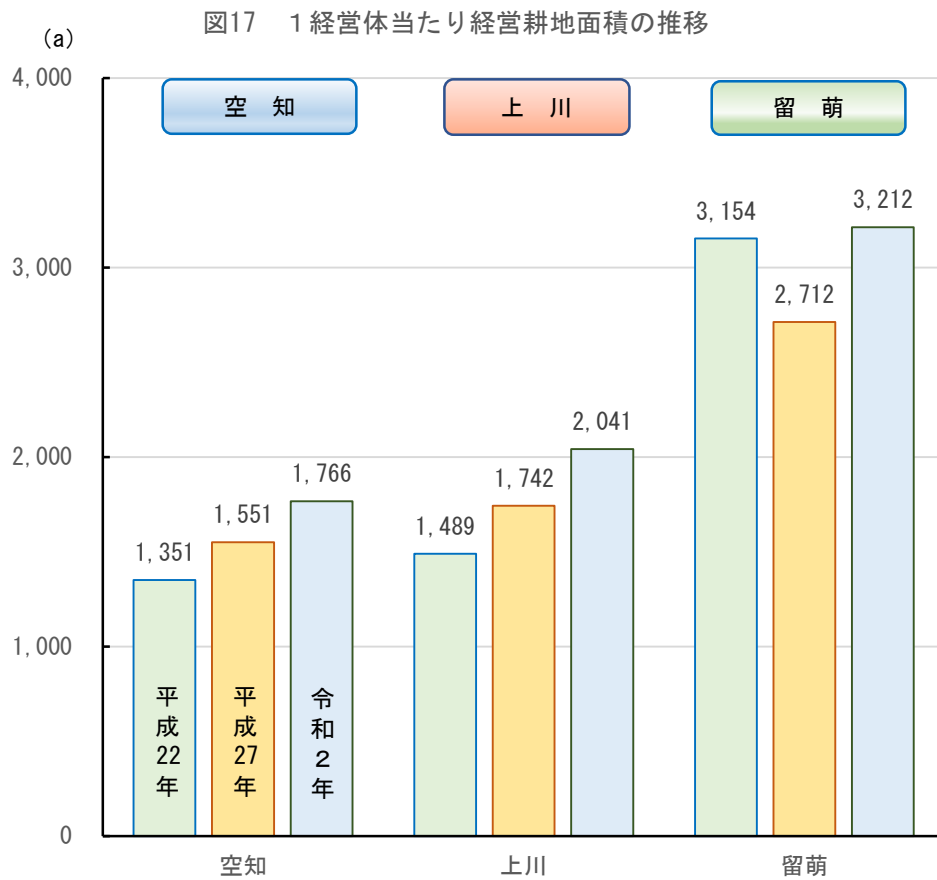
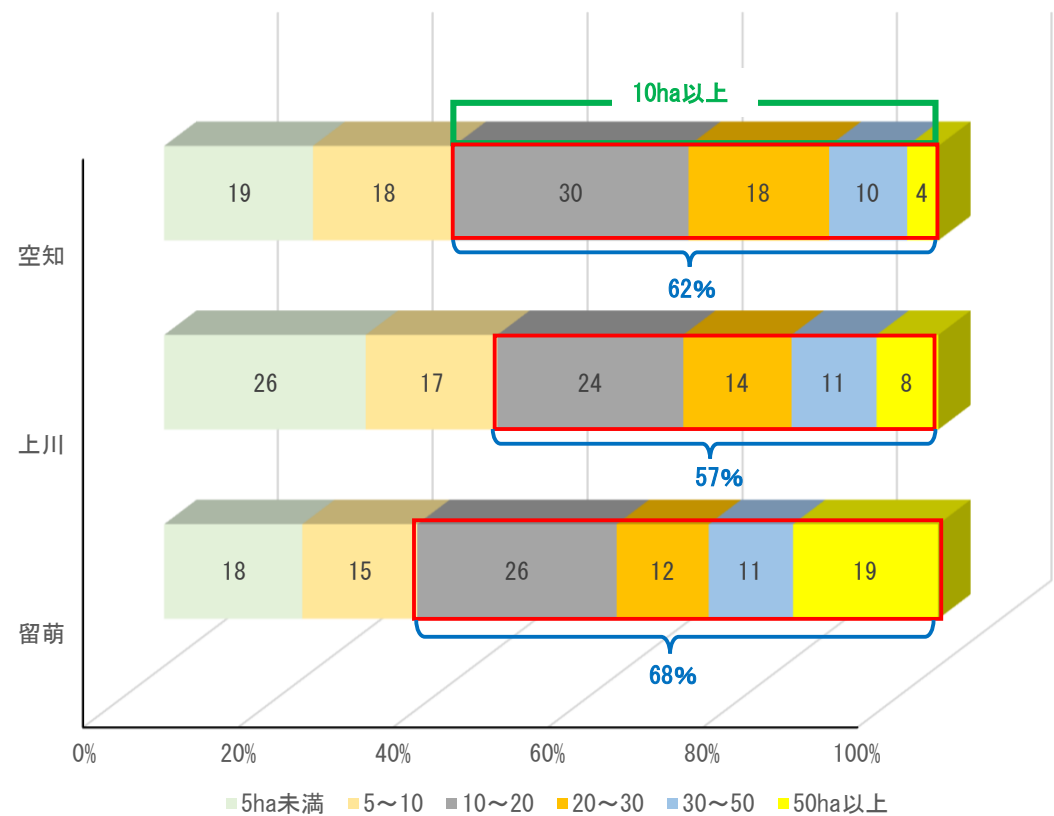


図18 経営耕地面積規模別農業経営体数の割合（令和2年）



注：幌延町については、平成22年は留萌に、平成27年以降は宗谷（P21）に含まれています
幌加内町については、平成22年は空知に、平成27年以降は上川に含まれています

道央（稲作）地域③：空知、上川、留萌

- ・ 基幹的農業従事者数は5年前に比べて3振興局ともに減少しました。また、3振興局ともに平均年齢は上昇しました。（図19）
- ・ 基幹的農業従事者数を年齢別にみると、3振興局ともに60歳代が最も多く、次いで70歳代、50歳代の順になりました。（図20）

図19 基幹的農業従事者数及び平均年齢

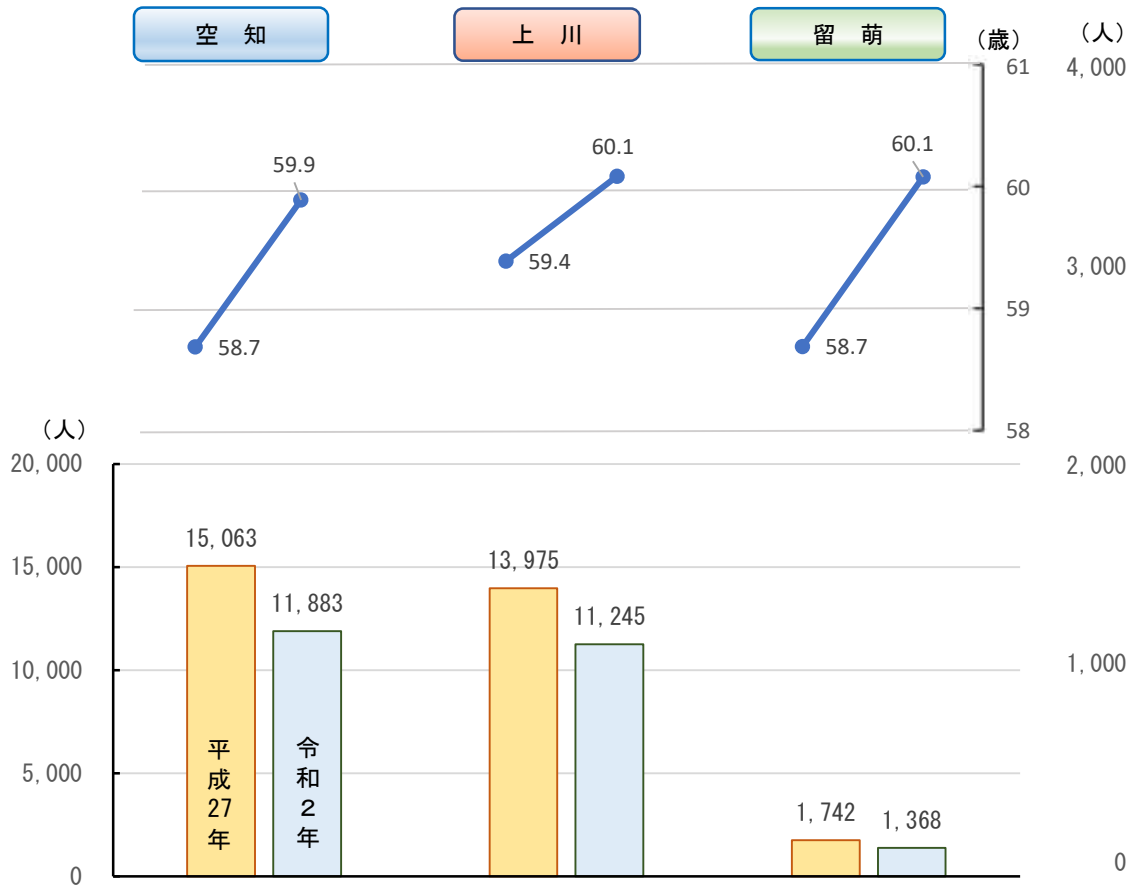
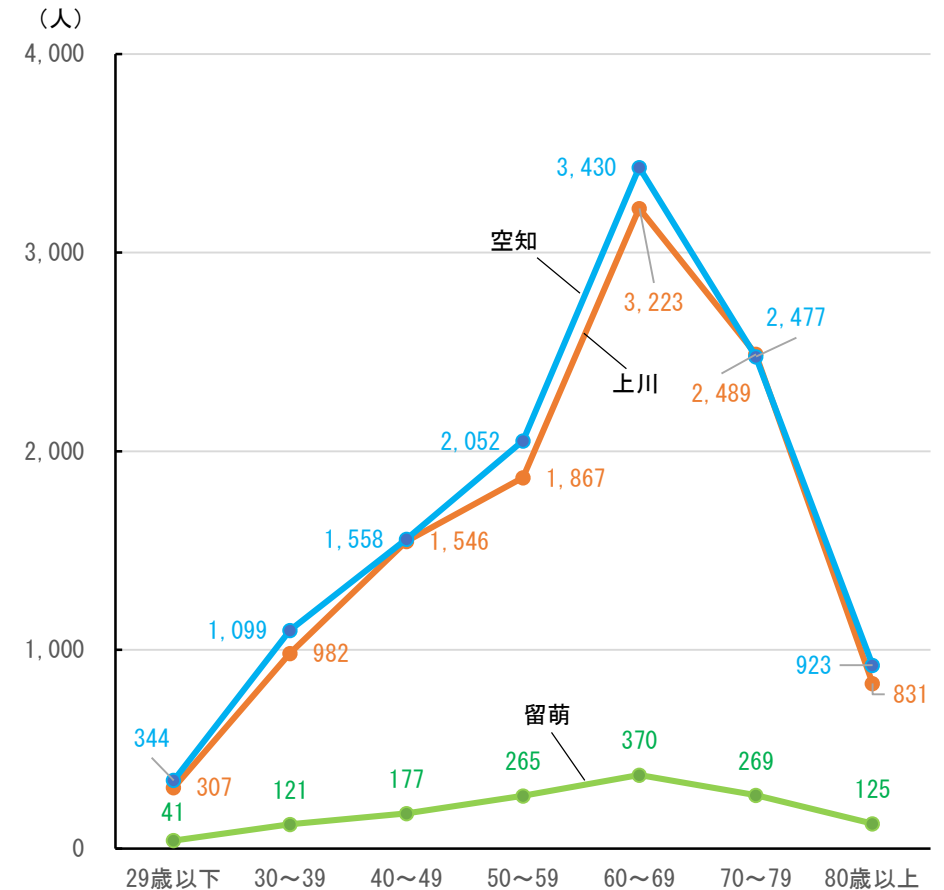


図20 年齢階層別個人経営体の基幹的農業従事者数（令和2年）



注：平成27年は販売農家、令和2年は個人経営体

道央（稲作・野菜）地域①：石狩、胆振／道央（軽種馬）地域①：日高

- ・農業経営体数は石狩が2,175経営体で最も多く、次いで胆振、日高の順となりました。また、5年前からの減少率は日高が17.3%で最も大きく、次いで胆振、石狩の順となりました。（図22）
- ・法人化している農業経営体数は日高が最も多くなりましたが、日高のみ減少しました。（図23）

図21 販売金額1位部門別農業経営体数の構成割合（令和2年）

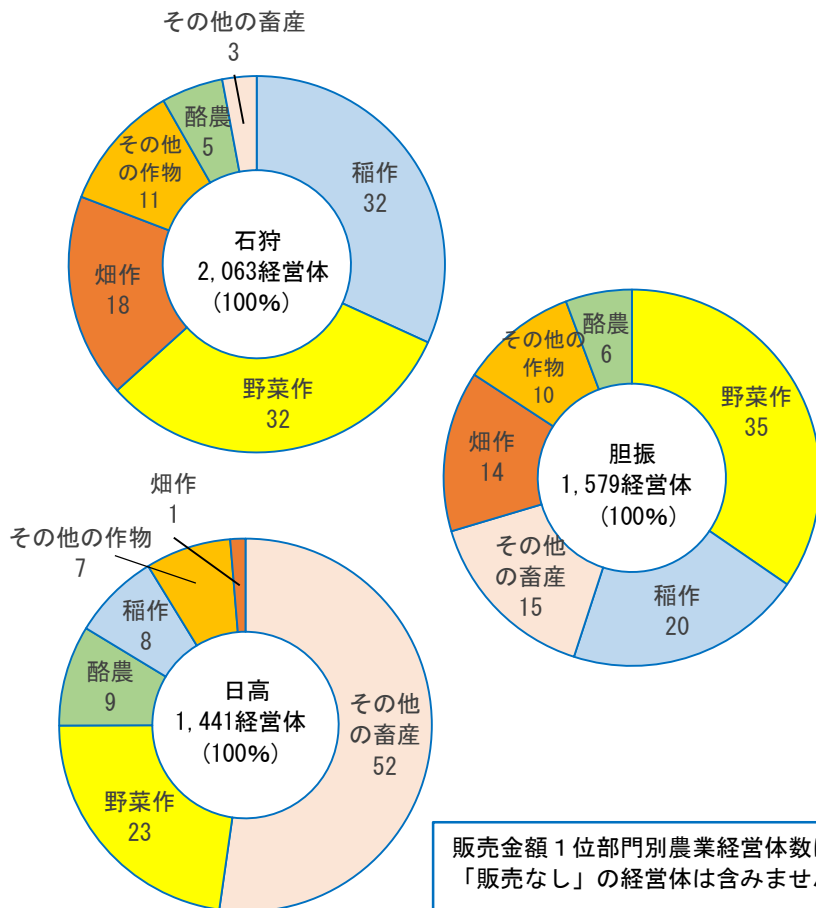


図22 農業経営体数の推移

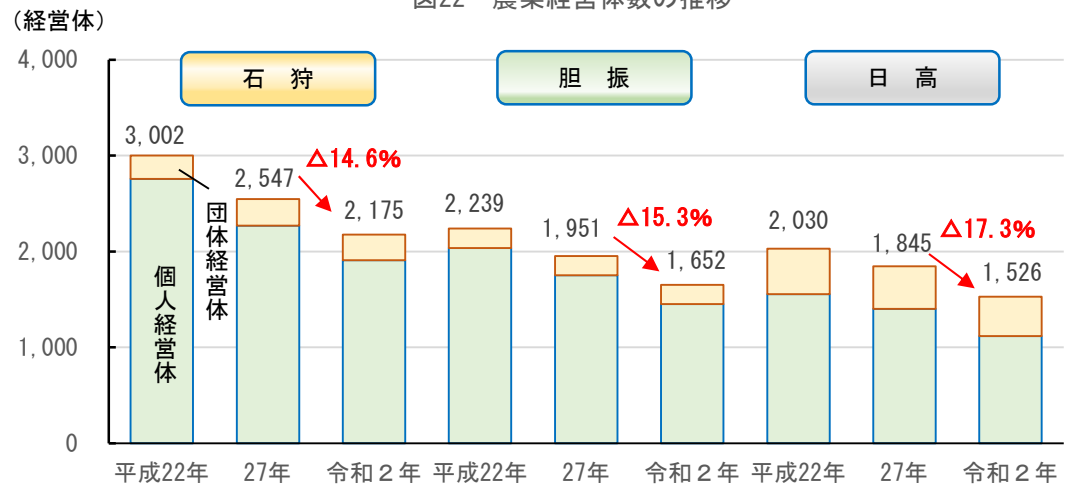
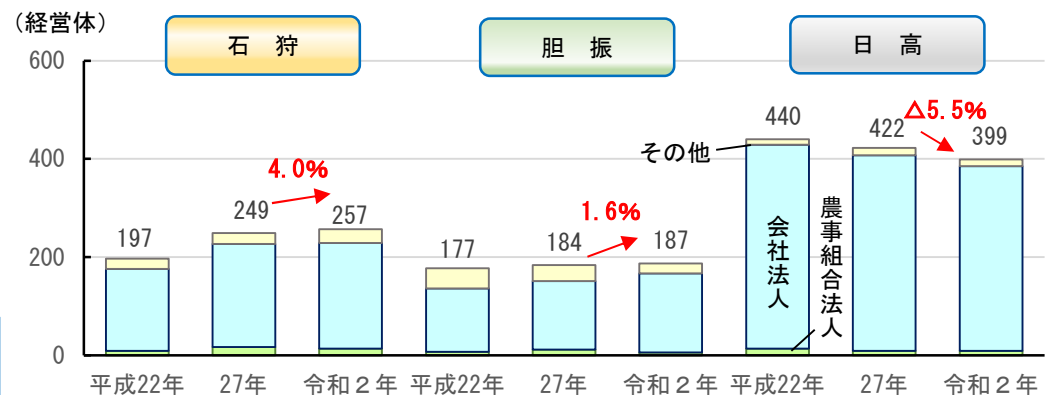


図23 法人化している農業経営体数の推移



道央（稲作・野菜）地域②：石狩、胆振／道央（軽種馬）地域②：日高

- ・ 1経営体当たり経営耕地面積は5年前に比べて3振興局ともに増加しました。（図24）
- ・ 農業経営体数を経営耕地面積規模別にみると、10ha以上が日高、石狩で50%以上を占めました。（図25）

図24 1経営体当たり経営耕地面積の推移

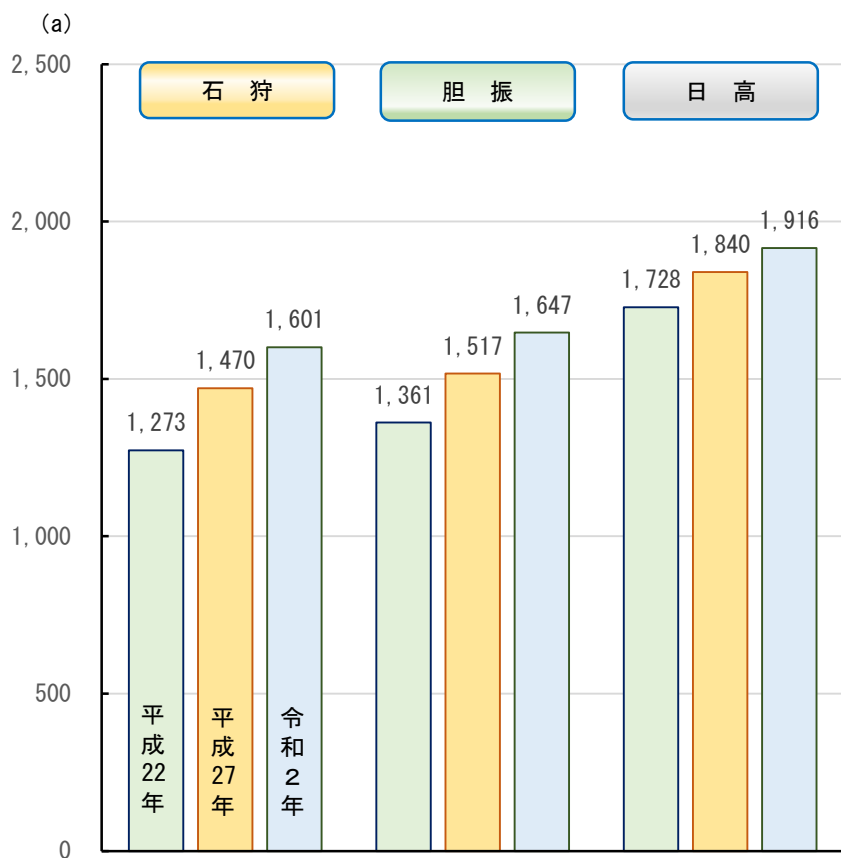
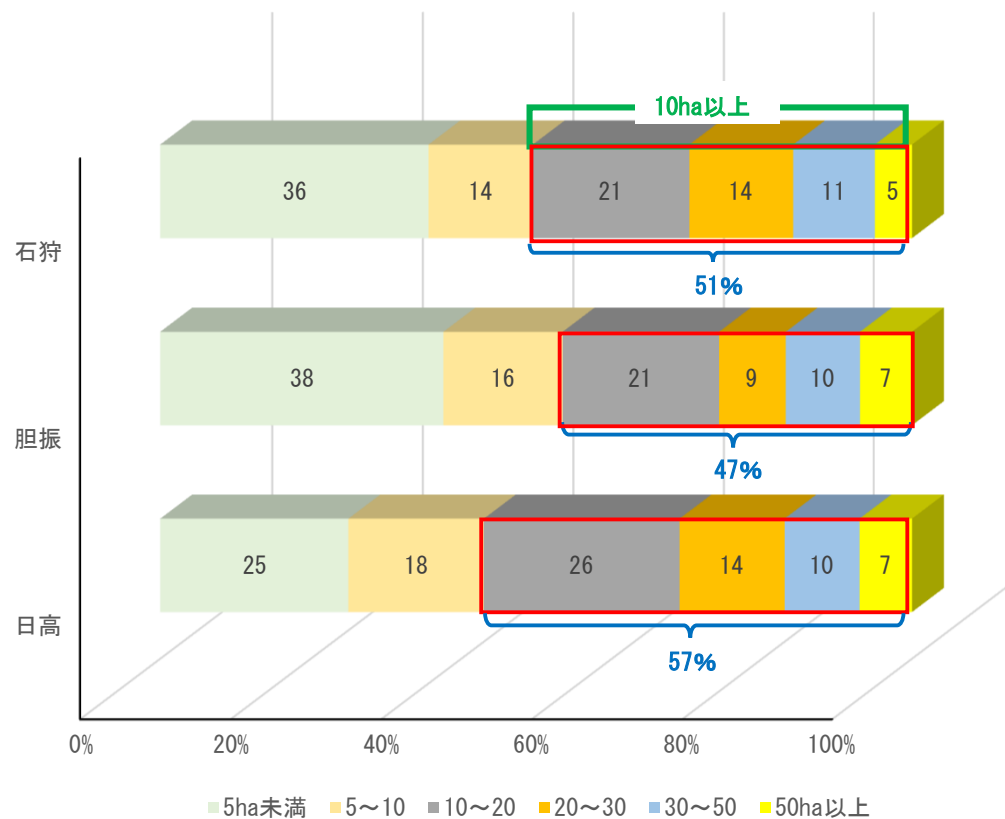


図25 経営耕地面積規模別農業経営体数の割合（令和2年）



道央（稲作・野菜）地域③：石狩、胆振／道央（軽種馬）地域③：日高

- ・ 基幹的農業従事者数は5年前に比べて3振興局ともに減少しました。また、3振興局ともに平均年齢は上昇しました。（図26）
- ・ 基幹的農業従事者数を年齢別にみると、3振興局ともに60歳代が最も多く、次いで70歳代、50歳代の順になりました。（図27）

図26 基幹的農業従事者数及び平均年齢

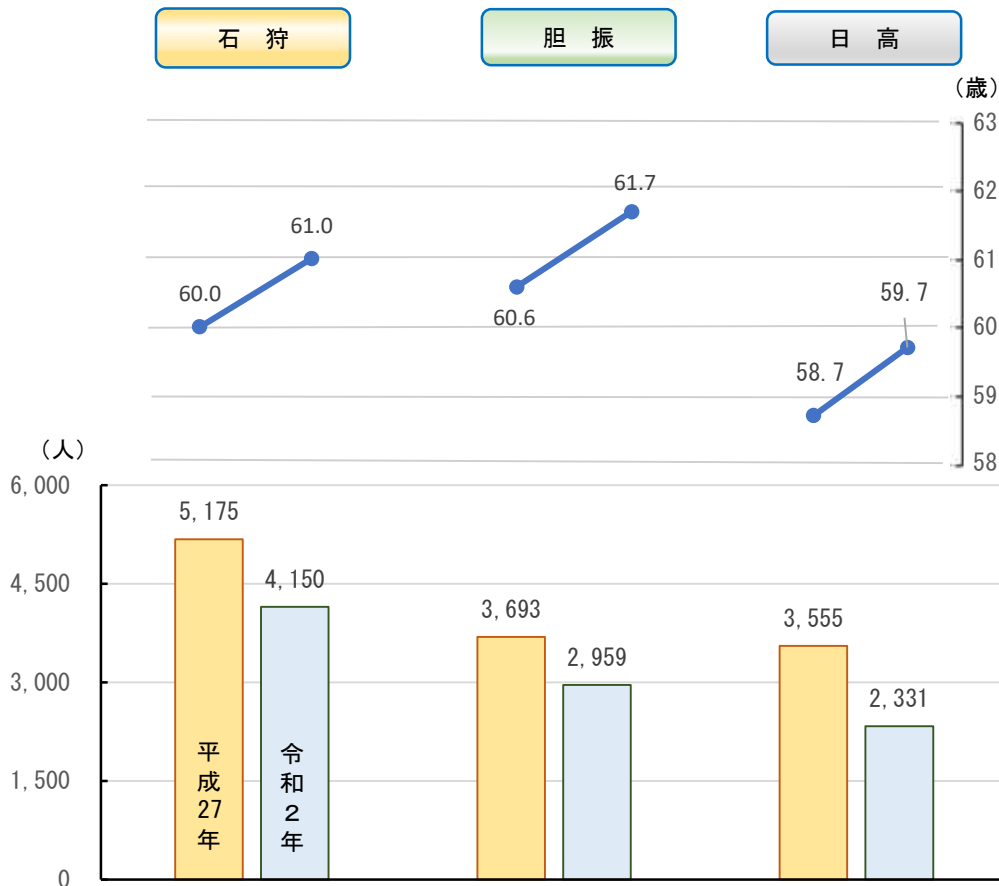
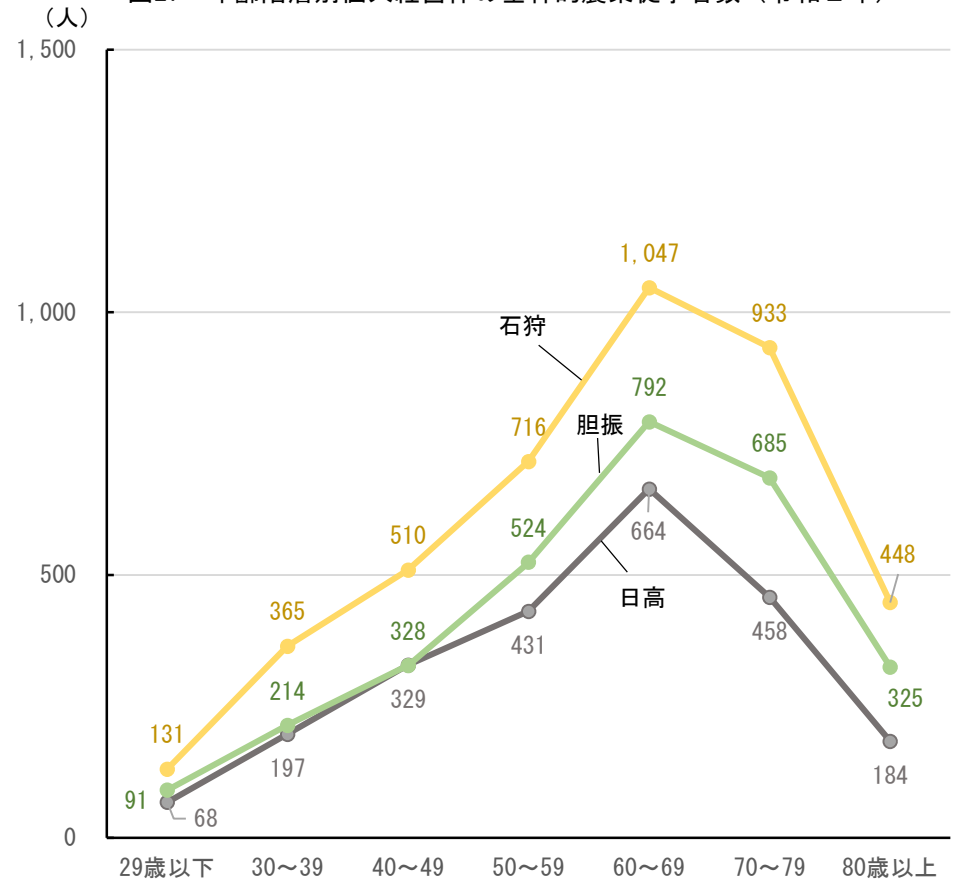


図27 年齢階層別個人経営体の基幹的農業従事者数（令和2年）



注：平成27年は販売農家、令和2年は個人経営体

道南地域①：渡島、檜山、後志

- ・ 農業経営体数は後志が2,203経営体で最も多く、次いで渡島、檜山の順となりました。また、5年前からの減少率は檜山の18.4%が最も大きく、次いで渡島、後志の順となりました。（図29）
- ・ 法人化している農業経営体数は後志が最も多く、5年前からの増加率も最も大きくなりました。（図30）

図28 販売金額1位部門別農業経営体数の構成割合（令和2年）

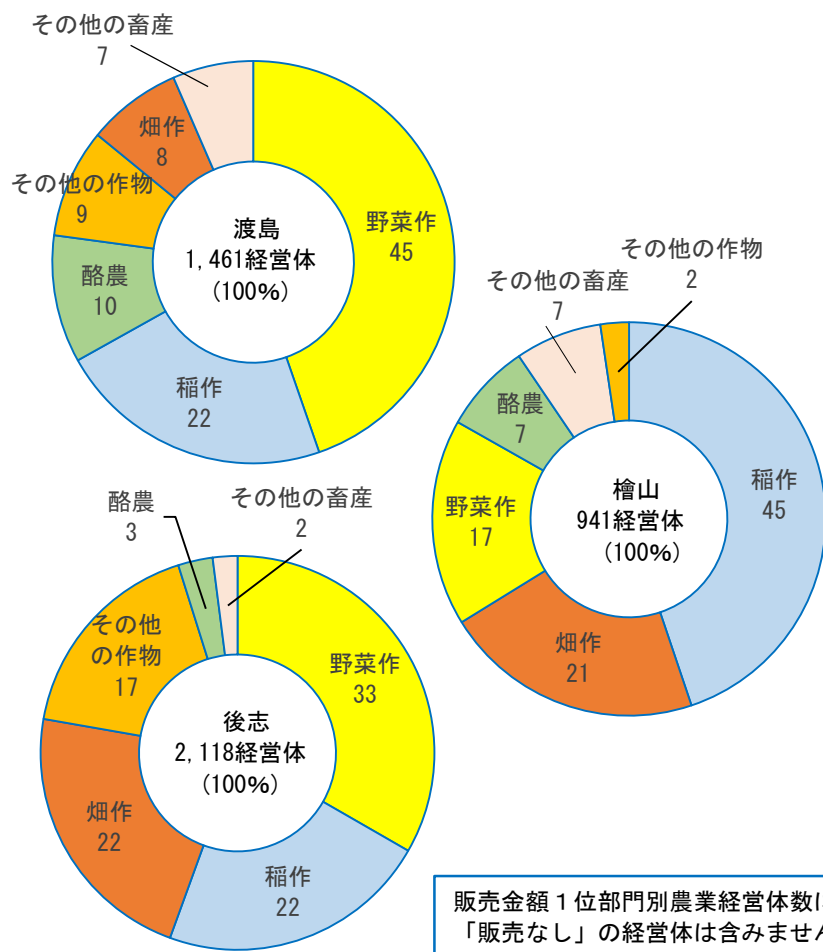


図29 農業経営体数の推移

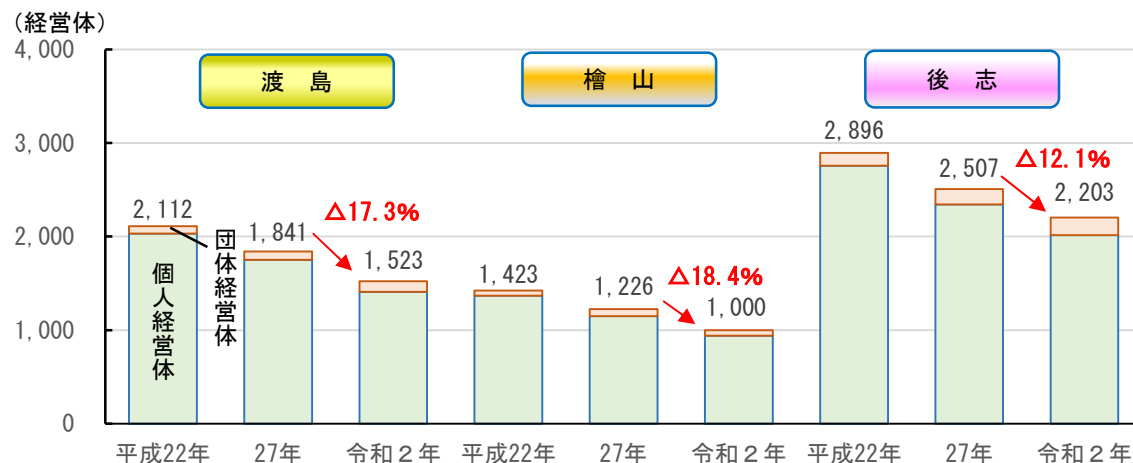
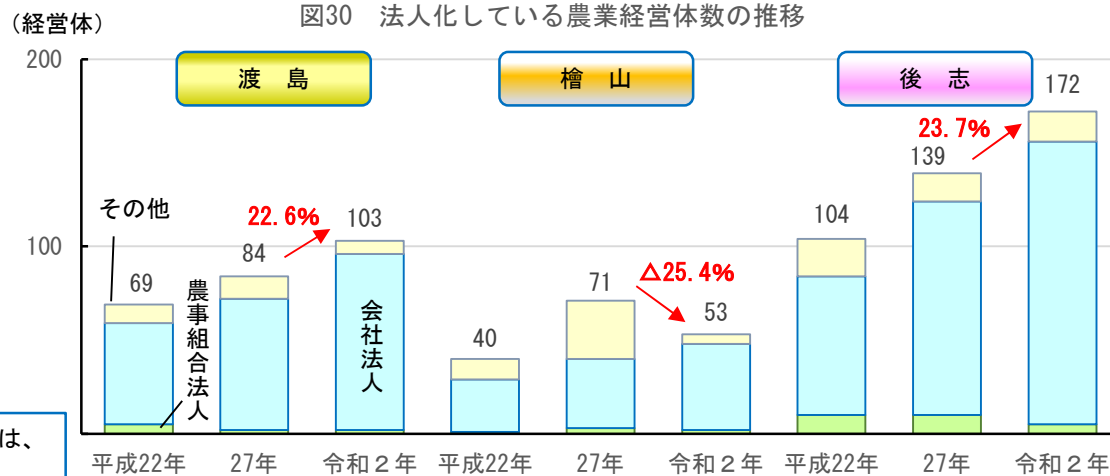


図30 法人化している農業経営体数の推移



道南地域②：渡島、檜山、後志

- ・ 1経営体当たり経営耕地面積は檜山が最も大きく、5年前に比べ3振興局ともに増加しました。（図31）
- ・ 農業経営体数を経営耕地面積規模別にみると、3振興局ともに10ha以上が50%を下回っており、5ha未満が最も多くなりました。（図32）

図31 1経営体当たり経営耕地面積の推移

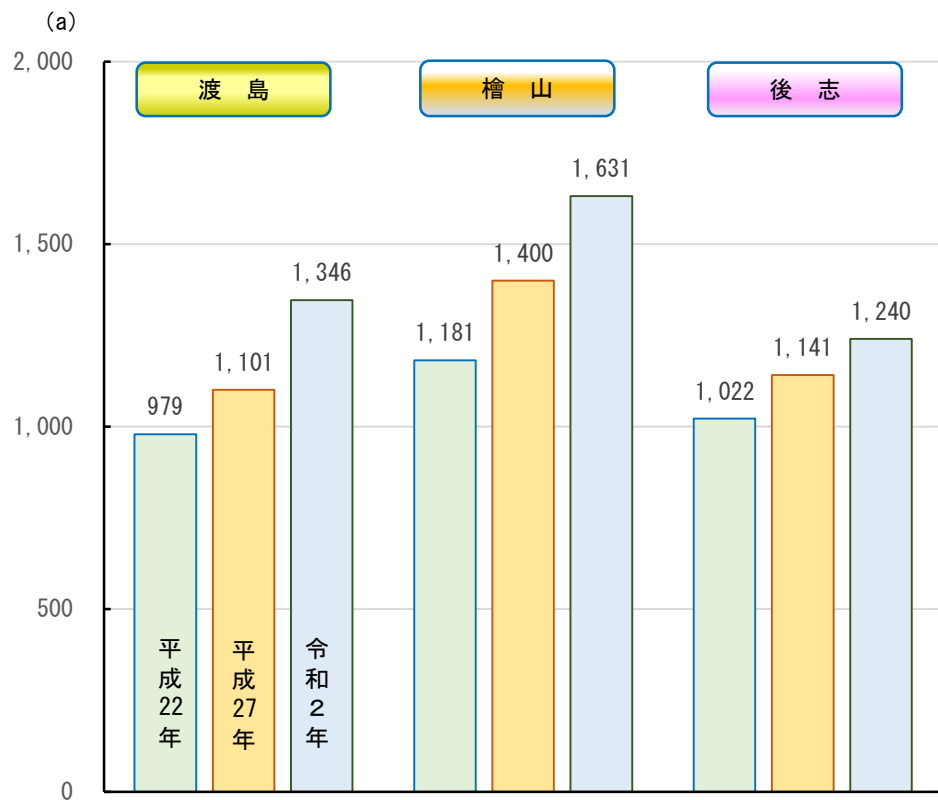
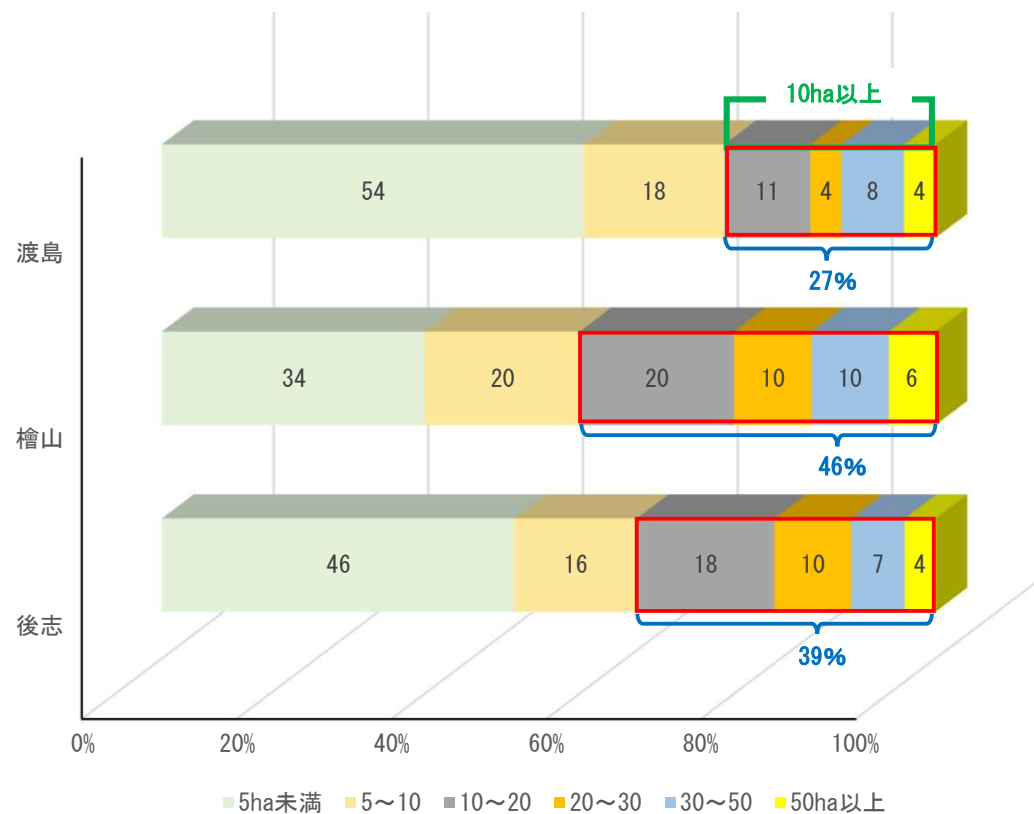


図32 経営耕地面積規模別農業経営体数の割合（令和2年）



道南地域③：渡島、檜山、後志

- ・ 基幹的農業従事者数は5年前に比べて3振興局ともに減少しました。また、3振興局ともに平均年齢は上昇しました。（図33）
- ・ 基幹的農業従事者数を年齢別にみると、3振興局ともに60歳代が最も多く、次いで70歳代、50歳代の順になりました。（図34）

図33 基幹的農業従事者数及び平均年齢

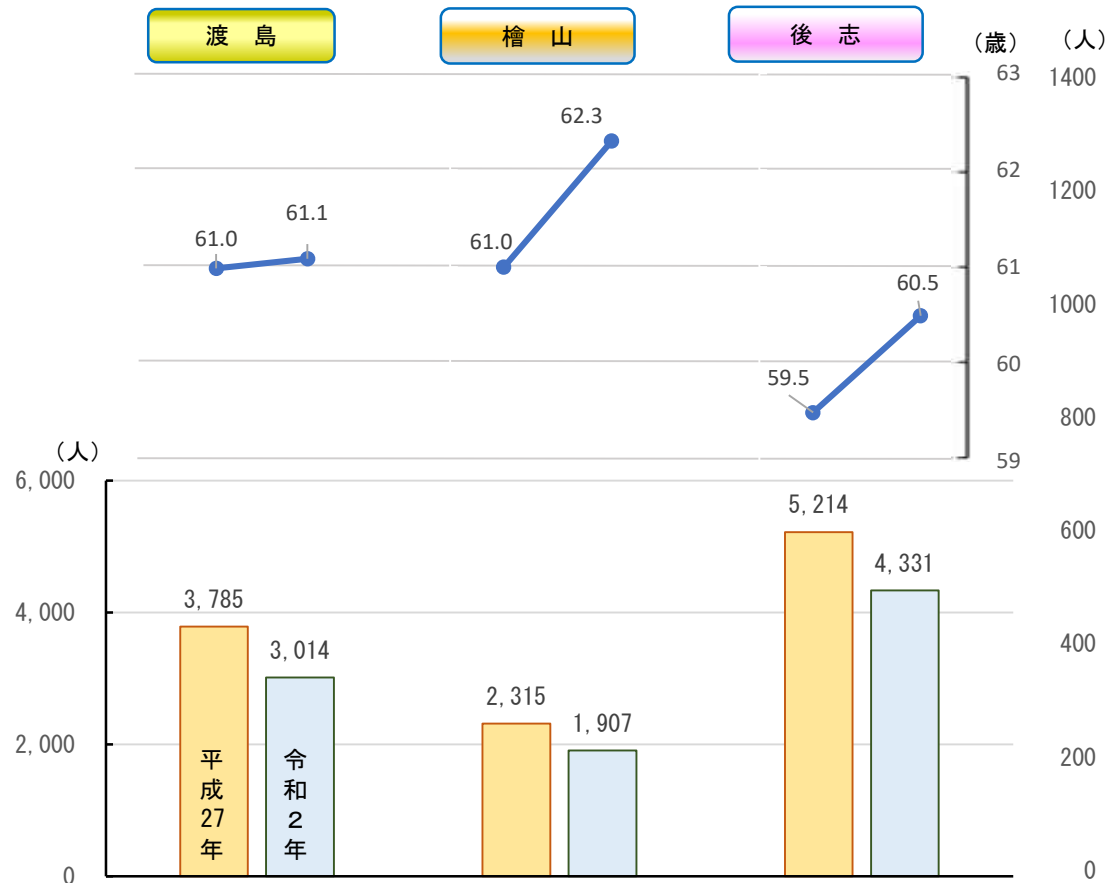
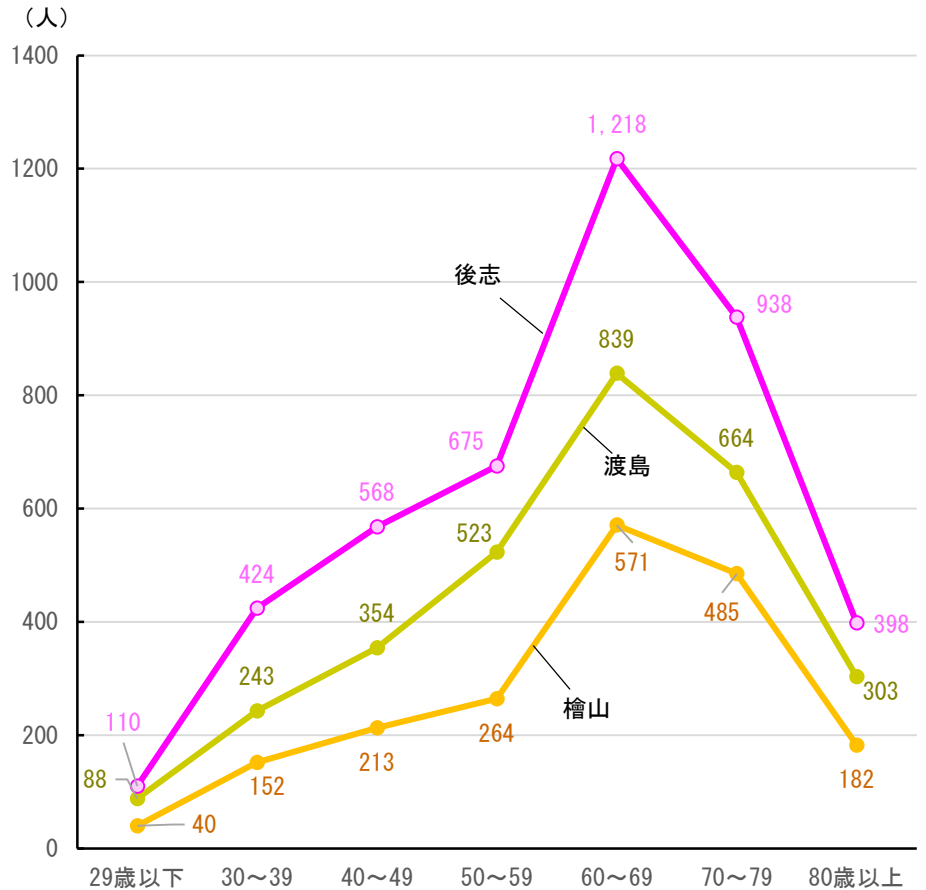


図34 年齢階層別個人経営体の基幹的農業従事者数（令和2年）

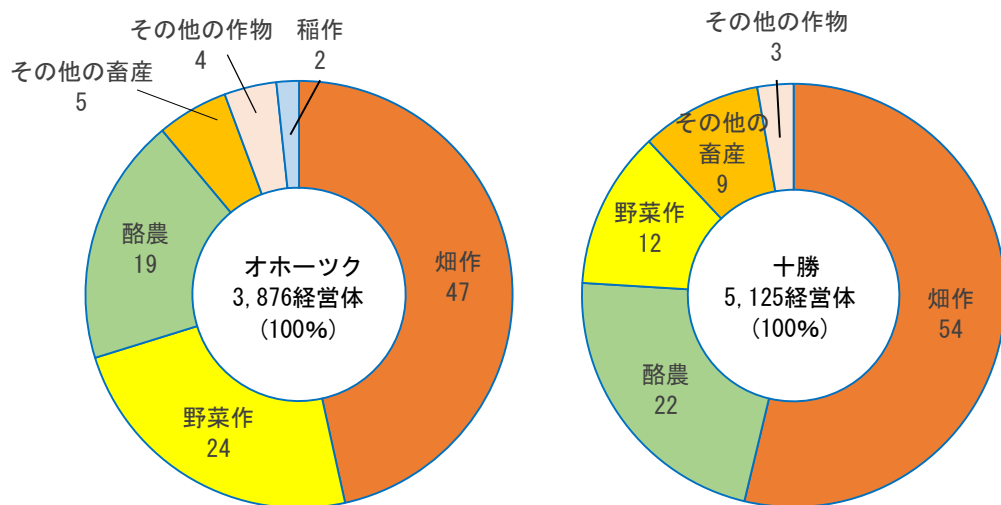


注：平成27年は販売農家、令和2年は個人経営体

道東（畑作）地域①：オホーツク、十勝

- ・ 農業経営体数はオホーツクが3,956経営体、十勝が5,266経営体となりました。また、5年前からの減少率はオホーツクが13.5%、十勝が9.9%となりました。（図36）
- ・ 法人化している農業経営体数は十勝、オホーツクともに増加しました。（図37）

図35 販売金額1位部門別農業経営体数の構成割合（令和2年）



十勝の稲作は「0%」のため表示していません

販売金額1位部門別農業経営体数には、「販売なし」の経営体は含みません

図36 農業経営体数の推移

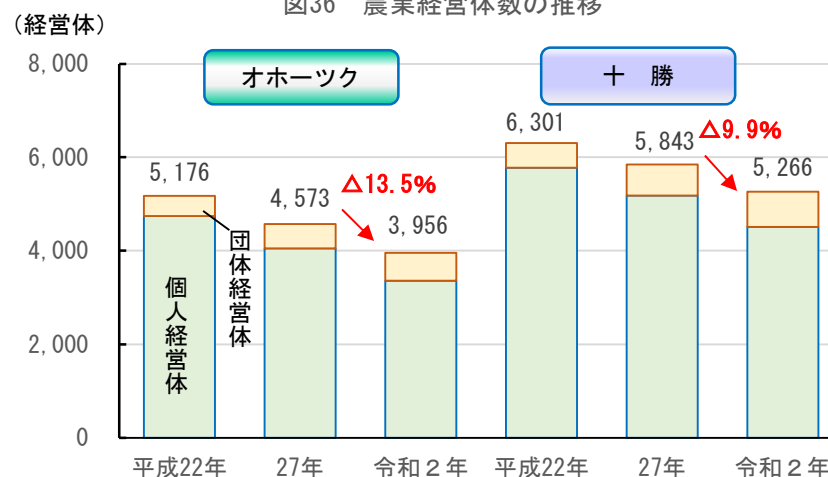
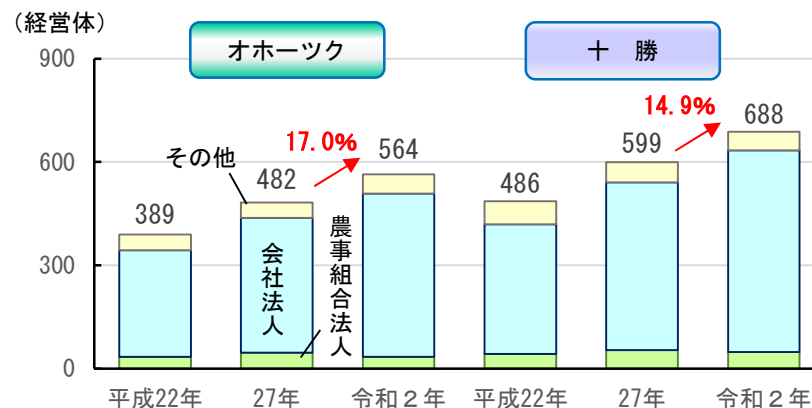


図37 法人化している農業経営体数の推移



道東（畑作）地域②：オホーツク、十勝

- ・ 1経営体当たり経営耕地面積は十勝が46ha、オホーツクが38haとなりました。また、5年前に比べ両振興局ともに増加しました。（図38）
- ・ 農業経営体数を経営耕地面積規模別にみると、両振興局ともに10ha以上が90%を占めていて、30ha以上が50%以上となりました。（図39）

図38 1経営体当たり経営耕地面積の推移

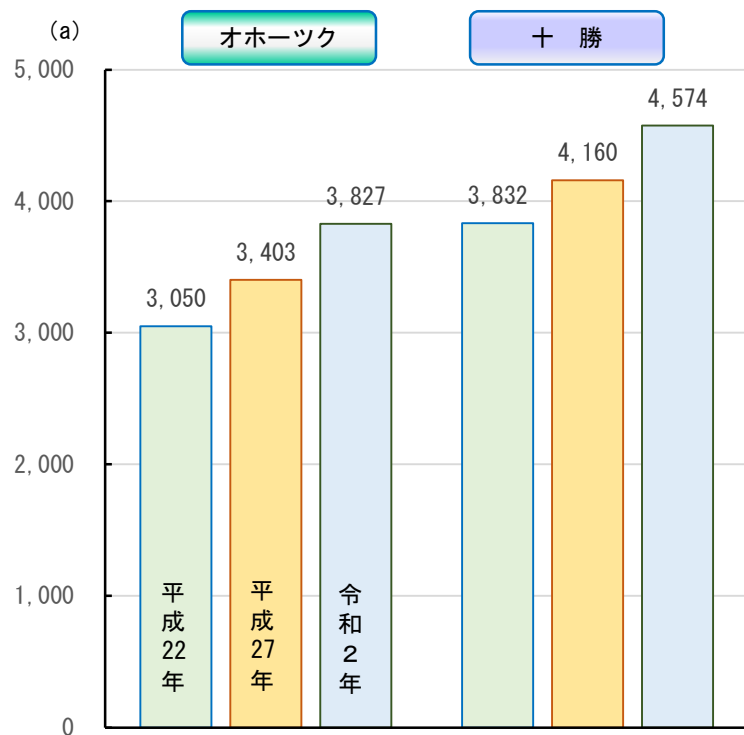
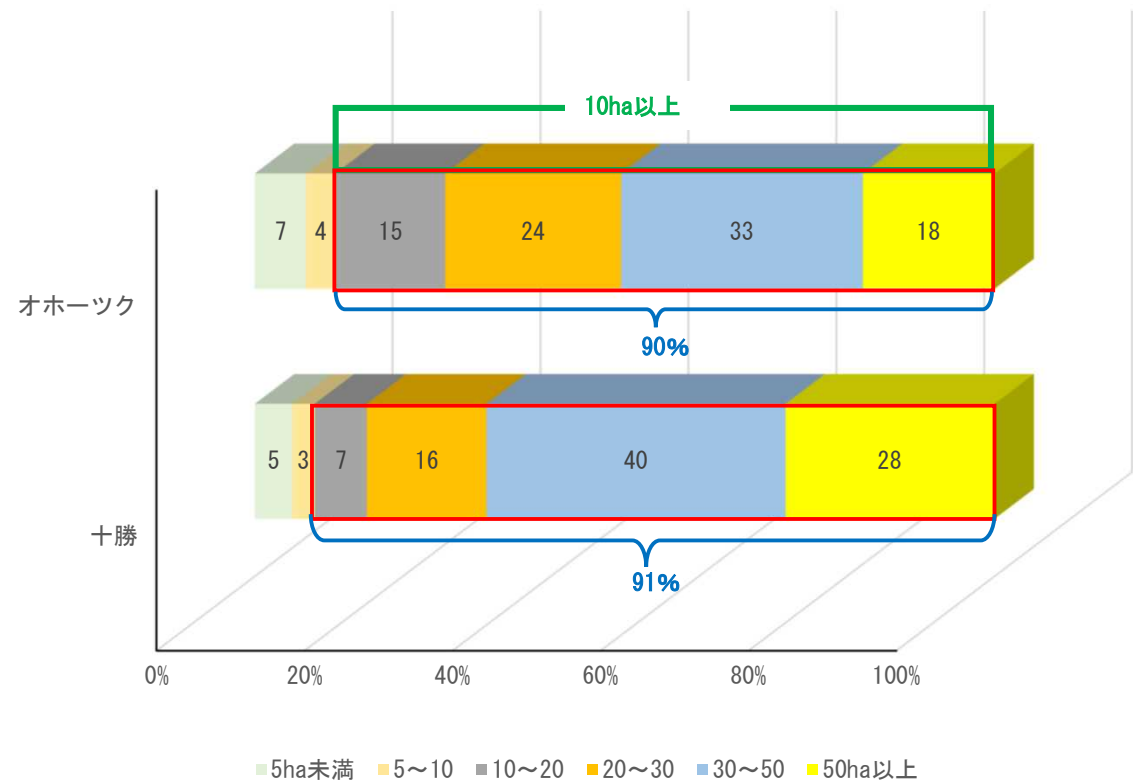


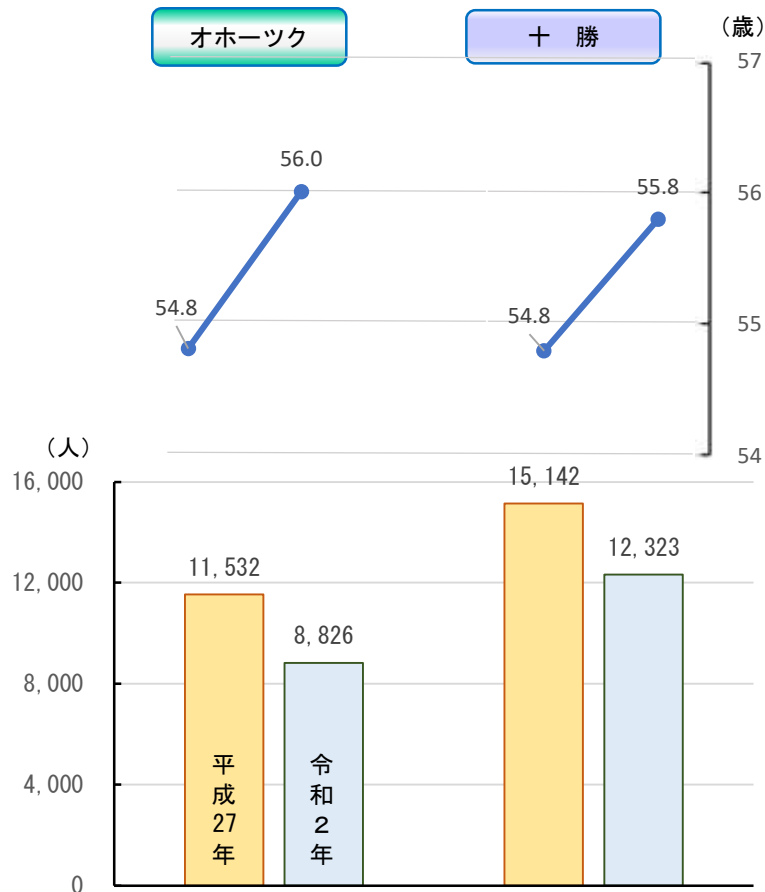
図39 経営耕地面積規模別農業経営体数の割合（令和2年）



道東（畑作）地域③：オホーツク、十勝

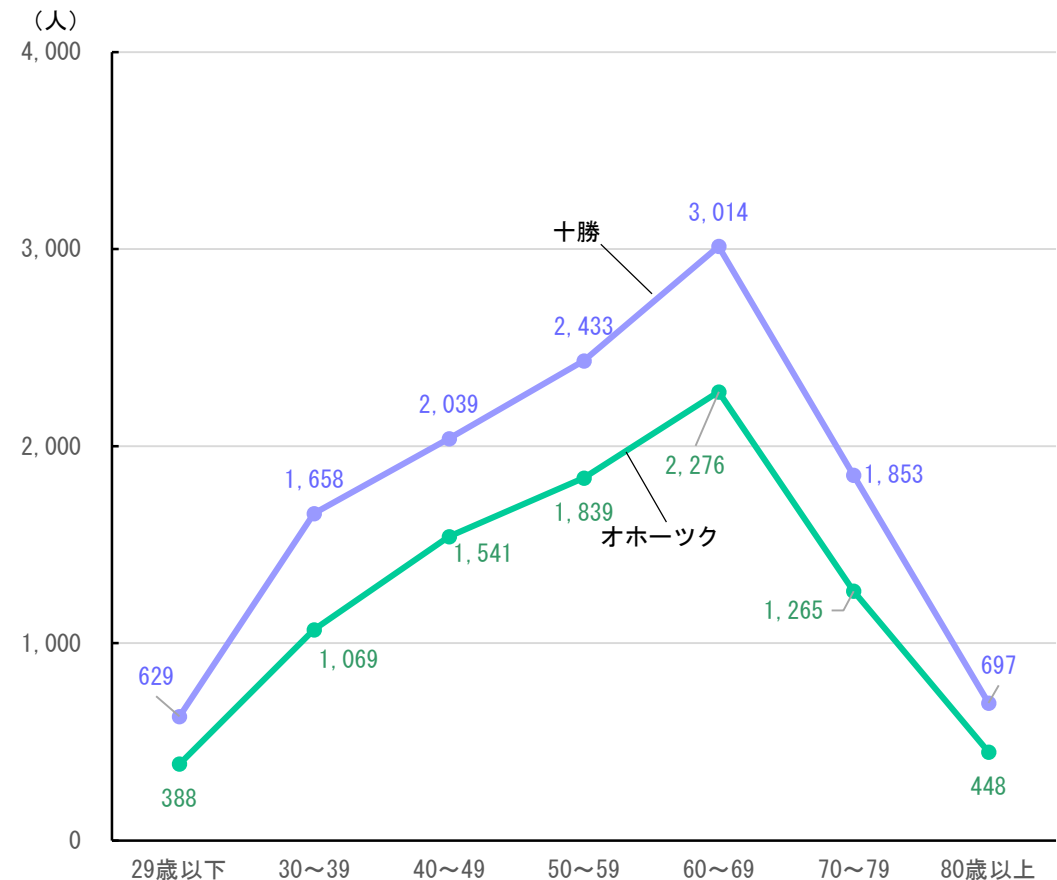
- ・ 基幹的農業従事者数は5年前に比べて両振興局ともに減少しました。また、両振興局ともに平均年齢は上昇しました。（図40）
- ・ 基幹的農業従事者数を年齢別にみると、両振興局ともに60歳代が最も多く、次いで50歳代、40歳代の順となりました。（図41）

図40 基幹的農業従事者数及び平均年齢



注：平成27年は販売農家、令和2年は個人経営体

図41 年齢階層別個人経営体の基幹的農業従事者数（令和2年）



道東（酪農）地域①：釧路、根室／道北地域①：宗谷

- ・ 農業経営体数は根室が1,362経営体で最も多く、次いで釧路、宗谷の順となりました。また、5年前からの減少率は釧路が14.3%で最も大きく、次いで宗谷、根室の順となりました。（図43）
- ・ 法人化している農業経営体数は根室が最も多く、5年前からの増加率も最も大きくなりました。（図44）

図42 販売金額1位部門別農業経営体数の構成割合（令和2年）

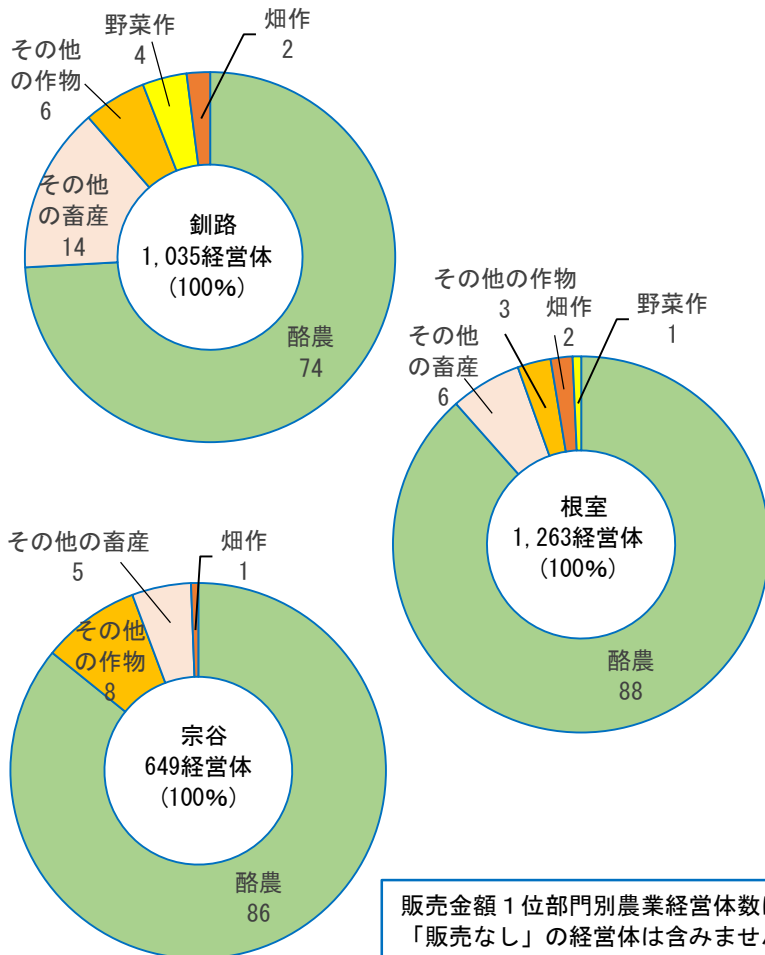


図43 農業経営体数の推移

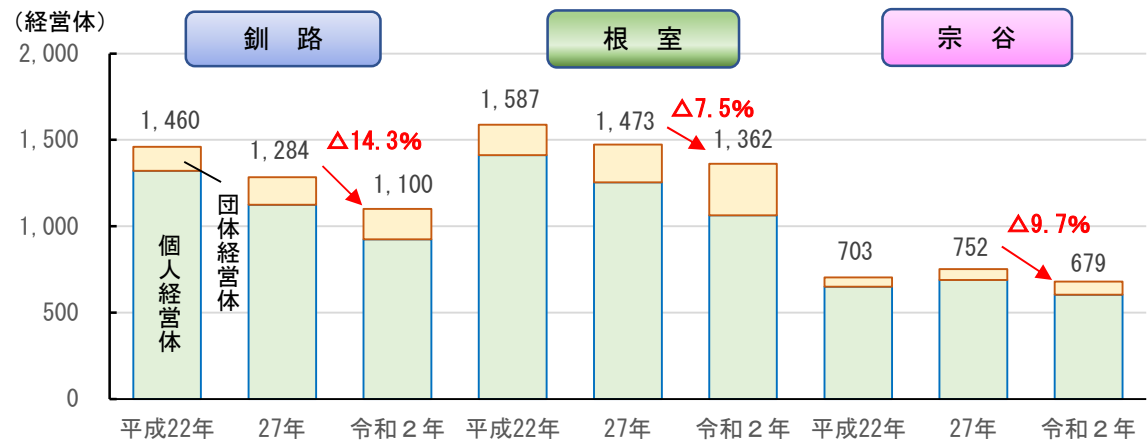
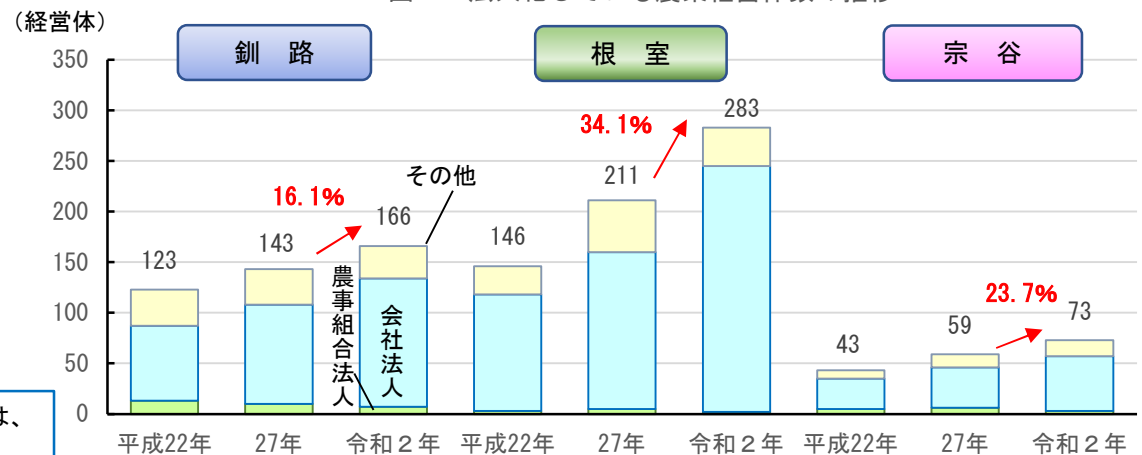


図44 法人化している農業経営体数の推移



道東（酪農）地域②：釧路、根室／道北地域②：宗谷

- ・ 1経営体当たり経営耕地面積は宗谷が最も多く、5年前に比べて3振興局ともに増加しました。（図45）
- ・ 農業経営体数を経営耕地面積規模別にみると、3振興局ともに10ha以上が90%以上となり、根室、宗谷は50ha以上が70%以上となりました。（図46）

図45 1経営体当たり経営耕地面積の推移

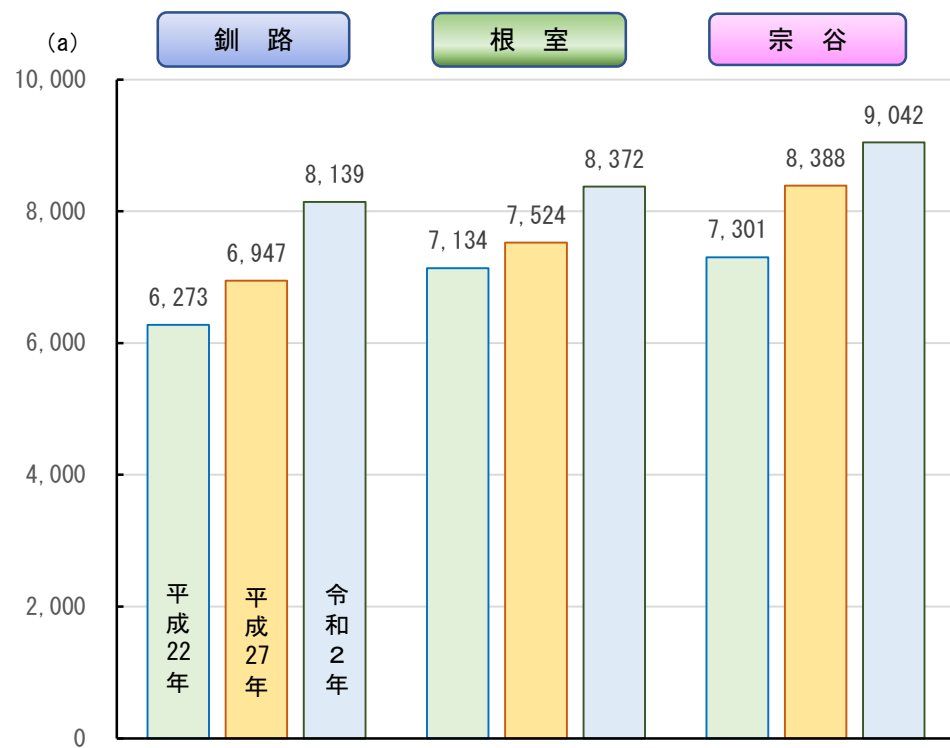
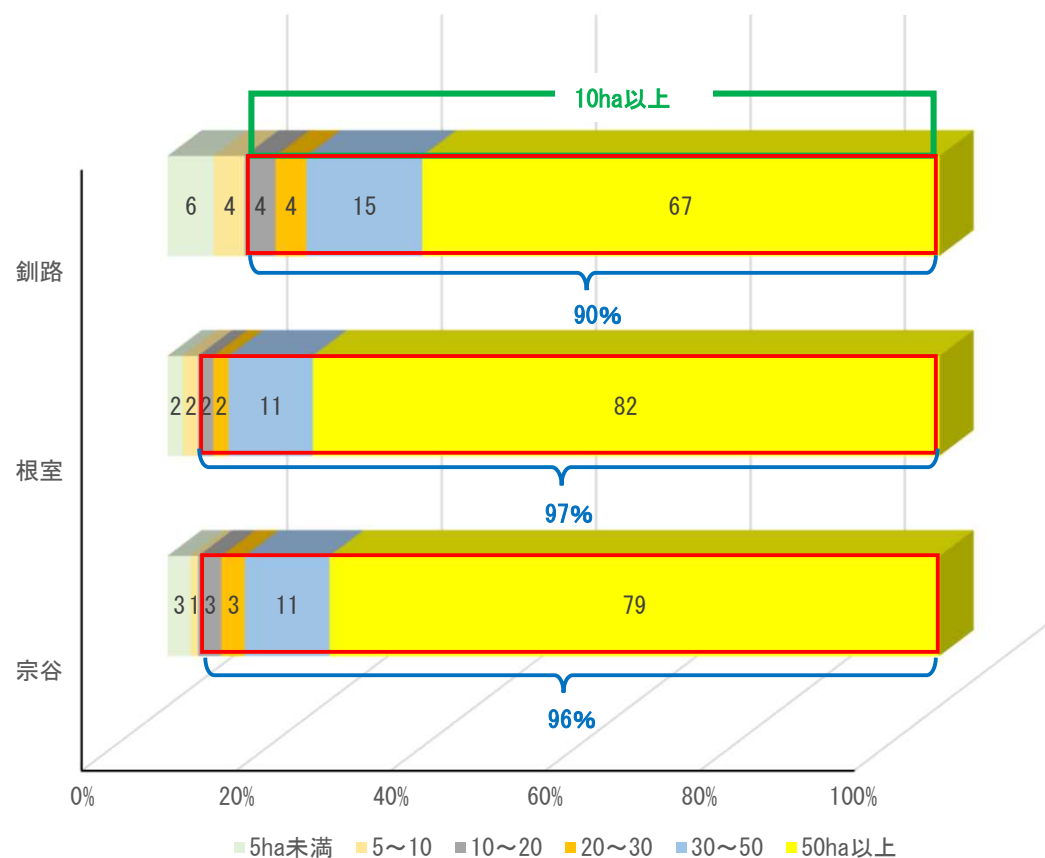


図46 経営耕地面積規模別農業経営体数の割合（令和2年）

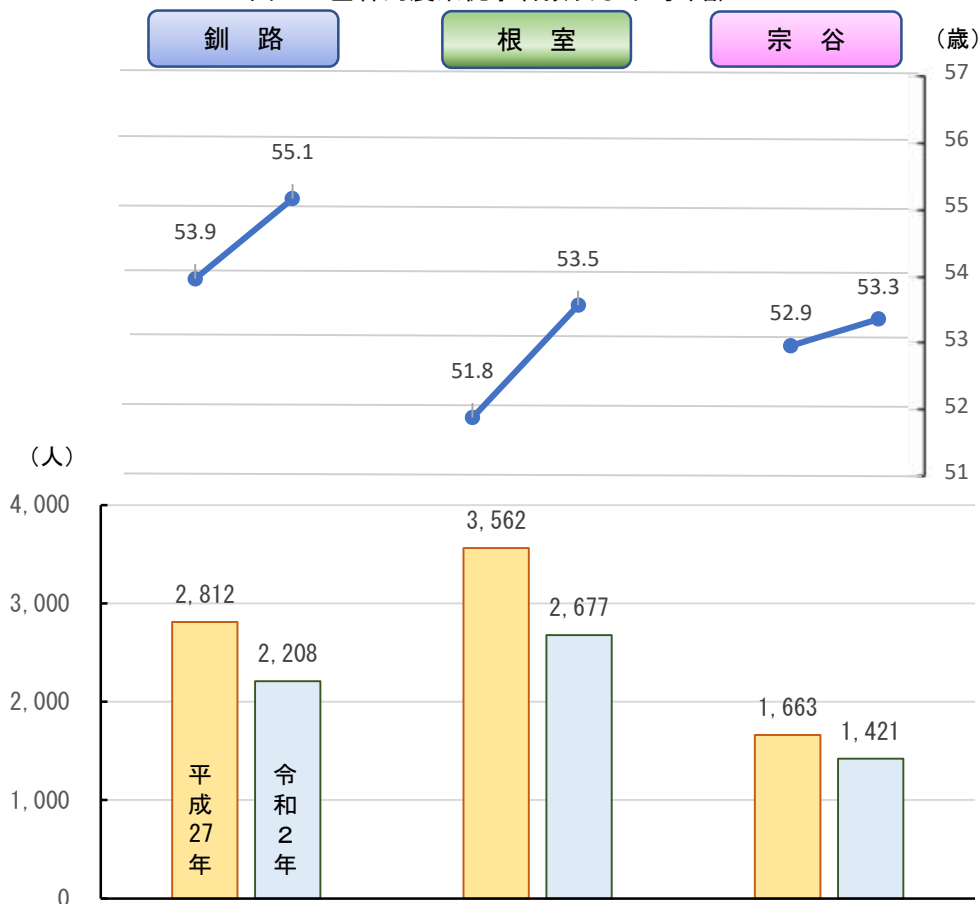


注：幌延町については、平成22年は留萌に、平成27年以降は宗谷に含まれています

道東（酪農）地域③：釧路、根室／道北地域③：宗谷

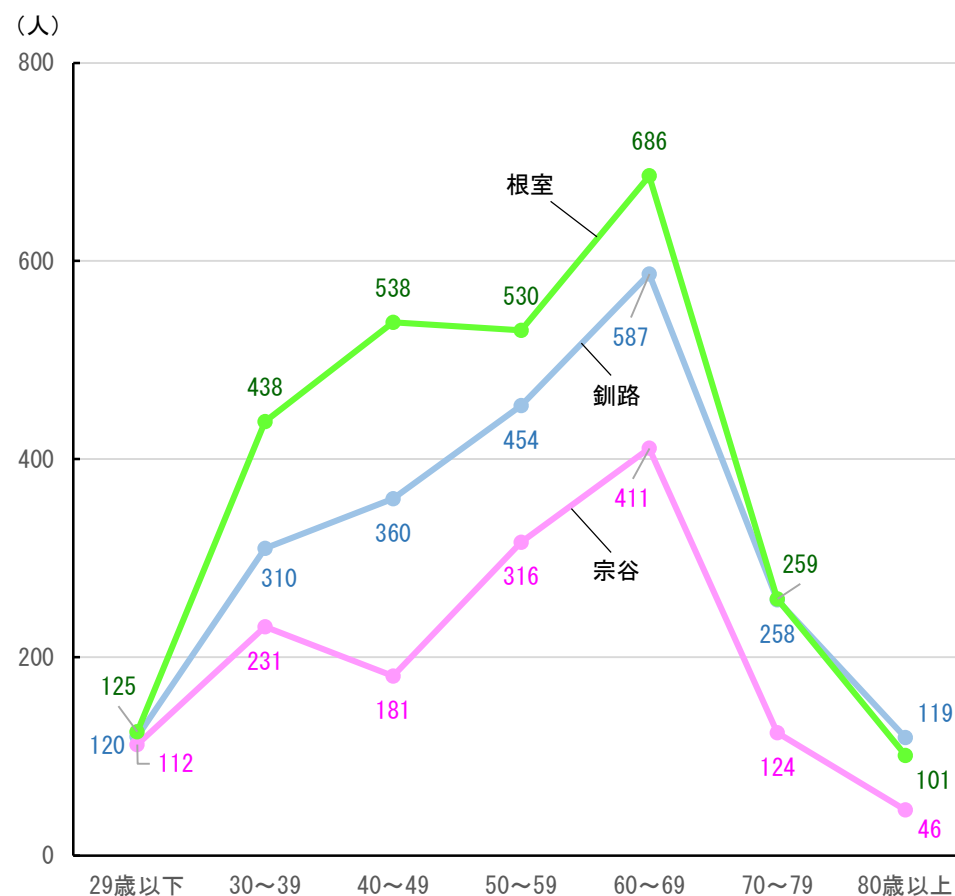
- ・ 基幹的農業従事者数は5年前に比べて3振興局ともに減少しました。また、3振興局ともに平均年齢は上昇しました。（図47）
- ・ 基幹的農業従事者数を年齢別にみると、3振興局ともに60歳代が最も多く、次いで50歳代又は40歳代が多くなりました。（図48）

図47 基幹的農業従事者数及び平均年齢



注：平成27年は販売農家、令和2年は個人経営体

図48 年齢階層別個人経営体の基幹的農業従事者数（令和2年）



IV 統計表

区分	単位	北海道			都府県			地域別（令和2年）						
		平成22年	27	令和2年	平成22年	27	令和2年	道央			道南	道東 畑作	道東・道北 酪農	
								稲作	稲作・野菜	軽種馬				
農業経営体数	経営体	46,549	40,714	34,913	1,632,535	1,336,552	1,040,792	12,471	3,827	1,526	4,726	9,222	3,141	
個人経営体	〃	42,990	36,739	30,566	1,600,528	1,303,225	1,006,776	11,261	3,362	1,116	4,366	7,872	2,589	
団体経営体	〃	3,559	3,975	4,347	32,007	33,327	34,016	1,210	465	410	360	1,350	552	
法人化している経営体	〃	3,034	3,576	4,047	18,593	23,525	26,660	1,102	444	399	328	1,252	522	
農事組合法人	〃	248	293	234	3,801	5,906	7,095	102	20	9	9	82	12	
会社法人	〃	2,373	2,886	3,565	10,611	13,687	16,412	925	395	386	296	1,103	460	
その他	〃	413	397	248	4,181	3,932	3,153	75	29	4	23	67	50	
1 経営体当たりの経営耕地面積	a	2,349	2,651	3,021	159	182	215	1,978	1,621	1,916	1,357	4,251	8,435	
経営耕地面積規模別	0.5ha未満（経営耕地なしを含む）	経営体	2,882	2,422	2,018	373,113	302,692	244,299	652	345	95	425	355	146
	0.5～1.0	〃	1,841	1,482	1,123	554,838	434,767	318,067	355	268	63	345	78	14
	1.0～3.0	〃	4,434	3,508	2,878	549,766	445,844	335,111	1,009	579	133	906	203	48
	3.0～5.0	〃	3,470	2,783	2,114	87,010	78,755	66,479	985	295	112	559	134	29
	5.0～10.0	〃	6,645	5,234	4,080	45,543	46,995	44,374	2,105	542	264	815	282	72
	10.0～20.0	〃	9,387	7,963	6,280	14,295	17,433	19,497	3,341	763	387	757	947	85
	20.0～50.0	〃	12,291	11,570	10,626	6,492	8,107	10,336	3,195	823	368	721	5,057	462
	50.0ha以上	〃	5,599	5,752	5,794	1,478	1,959	2,629	829	212	104	198	2,166	2,285
農産物販売金額3千万円以上の農業経営体数	経営体	9,204	10,156	11,847	23,874	25,190	29,257	2,162	673	426	760	5,708	2,118	
販売金額規模別	100万円未満（販売なしを含む）	〃	6,679	5,357	3,697	982,523	808,408	556,752	1,455	639	182	662	450	309
	100～500	〃	7,121	5,780	4,319	435,436	334,758	291,924	1,865	719	177	1,041	348	169
	500～1,000	〃	7,009	5,557	4,274	107,333	91,859	87,490	2,024	641	220	807	432	150
	1,000～3,000	〃	16,536	13,864	10,776	83,369	76,337	75,369	4,965	1,155	521	1,456	2,284	395
	3,000～5,000	〃	5,691	5,778	5,728	12,521	12,568	14,394	1,324	354	223	451	2,687	689
	5,000万～1億	〃	2,517	3,084	4,244	6,722	7,367	8,876	649	210	148	225	2,116	896
	1～3億	〃	781	1,008	1,397	3,412	3,714	4,204	131	66	36	53	665	446
	3億円以上	〃	215	286	478	1,169	1,541	1,783	58	43	19	31	240	87
農産物販売金額1位部門別の農業経営体数	経営体	43,674	38,487	33,541	1,462,902	1,206,745	944,669	11,990	3,642	1,441	4,520	9,001	2,947	
部門別	稲作	〃	11,999	10,319	8,488	877,388	704,551	534,372	6,110	978	109	1,218	70	3
	麦類作	〃	1,538	1,409	1,832	4,379	3,697	2,822	647	200	-	17	967	1
	雑穀・いも類・豆類	〃	6,599	6,059	5,094	26,585	24,068	20,112	1,330	320	15	750	2,638	41
	工芸農作物	〃	1,509	1,285	1,139	48,609	34,415	24,032	69	60	4	15	984	7
	露地野菜	〃	6,167	5,452	4,520	140,040	125,855	99,663	1,429	851	21	734	1,450	35
	施設野菜	〃	3,213	2,914	2,643	79,883	68,179	58,328	1,092	345	306	784	101	15
	果樹類	〃	777	670	631	172,688	152,279	128,021	131	98	2	378	20	2
	花き・花木	〃	863	674	546	39,209	32,333	24,836	220	152	49	81	39	5
	その他作物	〃	814	803	824	11,601	11,071	11,796	269	134	56	59	169	137
	酪農	〃	7,340	6,265	5,368	12,824	9,861	7,469	446	199	126	279	1,877	2,441
	肉用牛	〃	1,540	1,518	1,471	39,537	32,476	26,556	173	218	195	136	565	184
	養豚	〃	201	156	145	4,303	3,107	2,397	26	28	10	35	40	6
	養鶏	〃	122	112	94	4,653	3,905	3,235	18	31	-	19	19	7
	その他畜産（養蚕を含む）	〃	992	851	746	1,203	948	1,030	30	28	548	15	62	63
基幹的農業従事者（個人経営体）の平均年齢	歳	-	57.7	58.5	-	67.6	68.3	nc	nc	nc	nc	nc	nc	
基幹的農業従事者数（個人経営体）	人	-	85,280	70,643	-	1,671,488	1,292,395	24,496	7,109	2,331	9,252	21,149	6,306	
年齢別	29歳以下	〃	-	4,108	2,594	-	19,943	13,470	692	222	68	238	1,017	357
	30～39	〃	-	8,732	7,503	-	50,954	42,968	2,202	579	197	819	2,727	979
	40～49	〃	-	11,186	10,242	-	79,118	70,691	3,281	838	329	1,135	3,580	1,079
	50～59	〃	-	18,092	12,889	-	182,762	114,013	4,184	1,240	431	1,462	4,272	1,300
	60～69	〃	-	23,521	19,128	-	523,908	373,587	7,023	1,839	664	2,628	5,290	1,684
	70～79	〃	-	14,277	13,157	-	545,131	447,253	5,235	1,618	458	2,087	3,118	641
	80歳以上	〃	-	5,364	5,130	-	269,672	230,413	1,879	773	184	883	1,145	266

表中に用いた記号は、次のとおりです

「-」：事実のないもの
「nc」：計算不能

IV 統計表 (つづき)

区分	単位	振興局別 (令和2年)														
		空知	上川	留萌	石狩	胆振	日高	渡島	檜山	後志	オホーツク	十勝	釧路	根室	宗谷	
農業経営体数	経営体	5,910	5,817	744	2,175	1,652	1,526	1,523	1,000	2,203	3,956	5,266	1,100	1,362	679	
個人経営体	〃	5,306	5,291	664	1,910	1,452	1,116	1,410	940	2,016	3,361	4,511	923	1,063	603	
団体経営体	〃	604	526	80	265	200	410	113	60	187	595	755	177	299	76	
法人化している経営体	〃	557	480	65	257	187	399	103	53	172	564	688	166	283	73	
農事組合法人	〃	36	57	9	14	6	9	2	2	5	34	48	7	2	3	
会社法人	〃	493	384	48	227	168	386	96	46	154	502	601	135	262	63	
その他	〃	28	39	8	16	13	4	5	5	13	28	39	24	19	7	
1 経営体当たりの経営耕地面積	a	1,766	2,041	3,211	1,601	1,647	1,916	1,346	1,631	1,240	3,827	4,574	8,139	8,372	9,042	
経営耕地面積規模別	経営体	257	347	48	181	164	95	162	82	181	137	218	56	59	31	
0.5ha未満 (経営耕地なしを含む)	〃	160	181	14	155	113	63	128	45	172	44	34	10	3	1	
0.5～1.0	〃	418	535	56	328	251	133	346	133	427	99	104	29	10	9	
1.0～3.0	〃	382	560	43	156	139	112	211	85	263	62	72	15	10	4	
3.0～5.0	〃	1,046	954	105	289	253	264	270	198	347	147	135	45	20	7	
5.0～10.0	〃	1,767	1,390	184	439	324	387	169	199	389	572	375	43	24	18	
10.0～20.0	〃	1,635	1,401	159	522	301	368	172	201	348	2,180	2,877	201	168	93	
20.0～50.0	〃	245	449	135	105	107	104	65	57	76	715	1,451	701	1,068	516	
50.0ha以上	〃															
農産物販売金額3千万円以上の農業経営体数	経営体	841	1,168	153	355	318	426	263	121	376	2,255	3,453	687	963	468	
販売金額規模別	〃	580	768	107	380	259	182	218	151	293	206	244	113	144	52	
100万円未満 (販売なしを含む)	〃	787	978	100	440	279	177	369	228	444	153	195	68	60	41	
100～500	〃	1,010	905	109	355	286	220	233	205	369	210	222	68	55	27	
500～1,000	〃	2,692	1,998	275	645	510	521	440	295	721	1,132	1,152	164	140	91	
1,000～3,000	〃	619	630	75	177	177	223	141	78	232	1,191	1,496	220	280	189	
3,000～5,000	〃	169	418	62	128	82	148	80	33	112	784	1,332	268	416	212	
5,000万～1億	〃	39	79	13	36	30	36	22	9	22	221	444	159	236	51	
1～3億	〃	14	41	3	14	29	19	20	1	10	59	181	40	31	16	
3億円以上	〃															
農産物販売金額1位部門別の農業経営体数	経営体	5,717	5,574	699	2,063	1,579	1,441	1,461	941	2,118	3,876	5,125	1,035	1,263	649	
部門別	〃	3,529	2,244	337	656	322	109	324	422	472	67	3	2	1	-	
稲作	〃	321	279	47	178	22	-	3	5	9	323	644	1	-	-	
麦類作	〃	502	787	41	163	157	15	104	191	455	783	1,855	16	21	4	
雑穀・いも類・豆類	〃	9	57	3	21	39	4	4	5	6	729	255	4	3	-	
工芸農作物	〃	543	868	18	543	308	21	360	82	292	885	565	29	6	-	
露地野菜	〃	398	660	34	107	238	306	293	78	413	48	53	11	3	1	
施設野菜	〃	70	31	30	46	52	2	42	7	329	9	11	2	-	-	
果樹類	〃	162	50	8	102	50	49	57	4	20	19	20	1	2	2	
花き・花木	〃	56	190	23	77	57	56	29	11	19	61	108	52	33	52	
その他作物	〃	55	263	128	109	90	126	150	69	60	739	1,138	767	1,117	557	
酪農	〃	51	97	25	31	187	195	64	54	18	178	387	95	64	25	
肉用牛	〃	5	20	1	13	15	10	17	4	14	15	25	4	1	1	
養豚	〃	9	9	-	13	18	-	9	1	9	5	14	5	-	2	
養鶏	〃	7	19	4	4	24	548	5	8	2	15	47	46	12	5	
その他畜産 (養蚕を含む)	〃															
基幹的農業従事者 (個人経営体) の平均年齢	歳	59.9	60.1	60.1	61.0	61.7	59.7	61.1	62.3	60.5	56.0	55.8	55.1	53.5	53.3	
基幹的農業従事者数 (個人経営体)	人	11,883	11,245	1,368	4,150	2,959	2,331	3,014	1,907	4,331	8,826	12,323	2,208	2,677	1,421	
年齢別	〃	344	307	41	131	91	68	88	40	110	388	629	120	125	112	
29歳以下	〃	1,099	982	121	365	214	197	243	152	424	1,069	1,658	310	438	231	
30～39	〃	1,558	1,546	177	510	328	329	354	213	568	1,541	2,039	360	538	181	
40～49	〃	2,052	1,867	265	716	524	431	523	264	675	1,839	2,433	454	530	316	
50～59	〃	3,430	3,223	370	1,047	792	664	839	571	1,218	2,276	3,014	587	686	411	
60～69	〃	2,477	2,489	269	933	685	458	664	485	938	1,265	1,853	258	259	124	
70～79	〃	923	831	125	448	325	184	303	182	398	448	697	119	101	46	
80歳以上	〃															

V 2020 年農林業センサス（農林業経営体調査）の概要

(1) 調査の目的

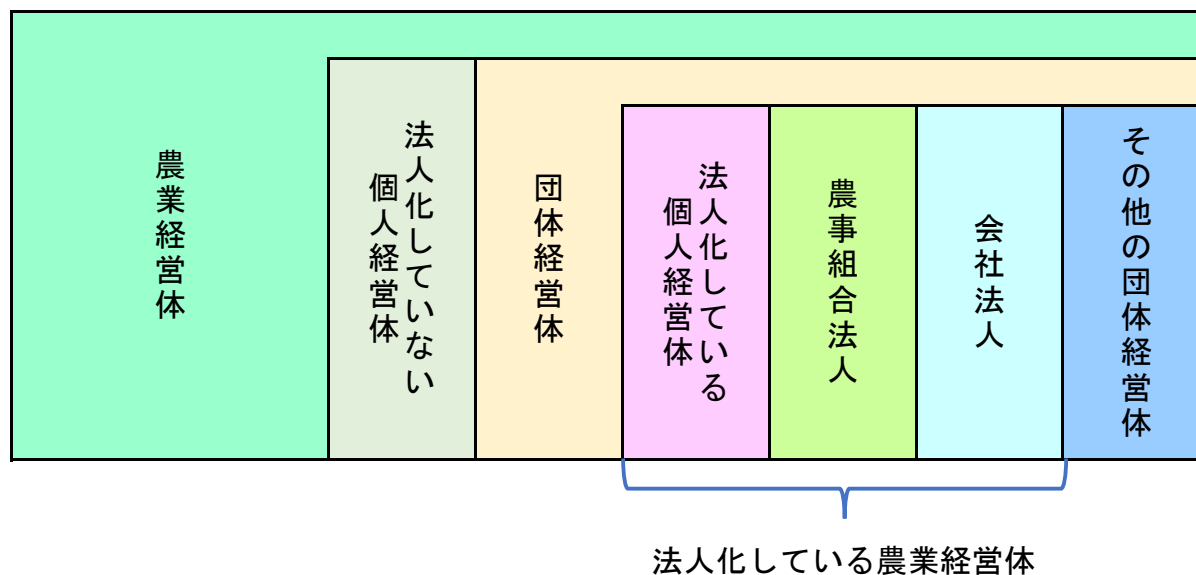
2020 年農林業センサスは、我が国の農林業の生産構造、就業構造及び農山村等の農林業をとりまく実態を明らかにするとともに、我が国の農林行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的として実施しています。

(2) 調査時期

令和2年2月1日現在

(3) 調査対象

農林産物の生産を行う又は委託を受けて農林業作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭羽数が一定規模以上の「農林業生産活動」を行う者（組織の場合は代表者）を対象に行っています。



VI 用語の解説

農業経営体

農産物の生産を行うか又は委託を受けて農業作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭羽数が、次の規定のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

(1) 経営耕地面積が30 a 以上の規模の農業

(2) 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が次の農林業経営体の基準以上の農業

- | | |
|--------------|---------------------------------------|
| ①露地野菜作付面積 | 15 a |
| ②施設野菜栽培面積 | 350 m ² |
| ③果樹栽培面積 | 10 a |
| ④露地花き栽培面積 | 10 a |
| ⑤施設花き栽培面積 | 250 m ² |
| ⑥搾乳牛飼養頭数 | 1 頭 |
| ⑦肥育牛飼養頭数 | 1 頭 |
| ⑧豚飼養頭数 | 15 頭 |
| ⑨採卵鶏飼養羽数 | 150 羽 |
| ⑩ブロイラ一年間出荷羽数 | 1,000 羽 |
| ⑪その他 | 調査期日前1年間における農業生産物の総販売額50万円 に相当する事業の規模 |

(3) 農作業の受託の事業

個人経営体

個人（世帯）で事業を行う経営体をいう。なお、法人化して事業を行う経営体は含まない。

団体経営体

個人経営体以外の経営体をいう。

農事組合法人

農業協同組合法（昭和22年法律第132号）に基づき、「組合員の農業生産についての協業を図ることによりその共同の利益を増進すること」を目的として設立された法人をいう。

会社法人

次のいずれかに該当するものをいう。

- ・株式会社
- ・合名・合資会社
- ・合同会社
- ・相互会社

その他の団体経営体	<p>次のいずれかに該当するものをいう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業協同組合、農業協同組合の連合組織（経済連等） ・ 森林組合、生産森林組合、森林組合連合会 ・ 農業共済組合や農業関係団体、又は森林組合以外の組合等の団体 ・ その他の各種団体（公益法人、宗教法人、医療法人、NPO法人など） ・ 地方公共団体 ・ 財産区
経営耕地	<p>調査期日現在で農林業経営体が経営している耕地（けい畔を含む田、樹園地及び畑）をいい、自ら所有し耕作している耕地（自作地）と、他から借りて耕作している耕地（借入耕地）の合計である。土地台帳の地目に関係なく、実際の地目別の面積とした。</p>
田	<p>耕地のうち、水をたたえるためのけい畔のある土地をいう。</p>
畑	<p>耕地のうち田と樹園地を除いた耕地をいう。</p>
樹園地	<p>木本性周年作物を規則的又は連続的に栽培している土地で果樹、茶、桑などが1 a以上まとまっているもの（一定の畝幅及び株間を持ち、前後左右に連続して栽培されていることをいう。）で肥培管理している土地をいう。</p>
牧草専用	<p>牧草だけを継続的に栽培している土地をいう。</p>
農産物販売金額	<p>肥料代、農薬代、飼料代等の諸経費を差引く前の売上金額（消費税を含む。）をいう。</p>
農業従事者等 世帯員	<p>原則として住居と生計を共にしている者をいう。出稼ぎに出ている人は含むが、通学や就職のためよそに住んでいる子弟は除く。また、住み込みの雇人も除く。</p>
農業従事者	<p>15歳以上の世帯員のうち、調査期日前1年間に自営農業に従事した者をいう。</p>
基幹的農業従事者	<p>15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。</p>

センサスからみた 北海道農業

～ 2020年農林業センサス結果より ～

【ホームページ掲載案内】

本資料は、北海道農政事務所ホームページ中のグラフや図でみる北海道の農業・漁業で
ご覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/gurafu_gaiyou/index.html



農林業センサスのデータは、北海道農政事務所ホームページ中の農林業センサスデータ
ベースでご覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/nousen/index.html>



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>

お問合せ先

農林水産省 北海道農政事務所
統計部統計企画課

電話：011-330-8818（直通）

FAX：011-520-3054